

# 平成29年度 共通教育カリキュラムマップ

【科目一覧】

## 基礎教養科目群 人文科学科目

| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|-----------------|----|--|---|
| 17GBSH0001 | 神話・伝説の世界から      | 全て | 民衆の中から発生した文学の背景を見つめ、本質に触れながら作品を鑑賞し、多くの文学作品の根底に流れるものを読み取る力をつけることを目的とする。   | 神話の普遍性について考え、人類の文化を知る。  |
| 17GBSH0002 | 万葉集恋歌の世界        | 全て | 万葉集は1200年以上前に編纂され、作者は天皇から農民に至るまでの様々の階層の人たちであり、生老病死・悲喜こもごもの4500首を歌が所収されている。その中で現代の我々の心に最も訴えるのは、やはり恋歌であろう。恋歌を通じて万葉集に親しむとともに、人間の本質を考える力を養う。                           | 日本文学の源流となった和歌、特に恋歌の理解を通じて、文明の目覚ましい発達にもかかわらず、1000年以上の時を経ても変わることのない喜怒哀楽があることを学び、自己の心情を豊かにする。和歌文学の原点である万葉集を学び、生涯学習力の基礎を獲得する。               |
| 17GBSH0003 | 平安朝文学の世界        | 全て | 平安朝の文学を通して、当時の人々の生活・風俗や考え方に触れ、我が国の文学や文化についての理解を深めることを目標とする。  | 古典文学作品を読解する基本的な能力を身につける。平安時代の人々の生活や考え、文化について理解する。平安時代のさまざまな作品に触れることを通じて、文学史の知識を身につける。   |
| 17GBSH0004 | 日本文学にみる香り       | 全て | 「香り」が話題になってから久しい。古代から日本人は「香り」に強い関心を持っていた。文学作品を通して、日本人がいかに「香り」に関心を持ち、独自の「香」文化を形成していったかを理解する。  | 古典の知識を習得し、社会での活動その他において活用することができること。教科書を熟読することにより、香りだけではない、さまざまな古典の知識、現代の生活への影響などを学び、古典を学習することの意義を理解すること。香りについてさまざまな知識を習得し、それを生活に生かすこと。 |
| 17GBSH0005 | 「徒然草」から学ぶ生き方    | 全て | 「徒然草」を読み、古人の考え方や感性を理解するとともに、自分の言葉で兼好の言いたかったことに対して自分の考えを整理することで、人間としての在り方や生き方に関する深い洞察、現実を正しく理解する力を身に付けることを目的とする。  | 「徒然草」の世界を通して現代生活や自己を見つめ直す。  |
| 17GBSH0006 | 芭蕉をめぐる人々        | 全て | 「芭蕉」は交流のあった人々にどのような影響を与えかつ受けたのかを知ることが目的である。「芭蕉」は独自の俳諧を開拓するにあたって、多くの人の影響を受け、また多くの人に影響を与えている。この講座では、「芭蕉」はどのような人と関わり、どのような影響を受けたのか。また「芭蕉」らしさはいかにして形成されたのかを知ることが目的である。 | 「芭蕉」と交流のあった人々に対する彼の書簡や著作を読み解くことにより、「芭蕉」の人間性や考え方を理解し、その感性に触れることを目標とする。   |
| 17GBSH0007 | 雨月物語に込められた情念    | 全て | 『雨月物語』は一般に怪異小説と受け取られていることが多い。しかし、その中には作者「上田秋成」の執着、執念などの思いが込められている。そういった情念を怪異譚の中から読み取ることを目的とする。   | 『雨月物語』に込められた情念や「秋成」の主張する教訓的な内容を理解することが目標である。  |
| 17GBSH0008 | 芭蕉と旅            | 全て | 「芭蕉」の旅の記録や作品である紀行に触れることによって、その俳文を通じて彼の人生そのものともいべき旅への想いと、その人生観・俳諧観にふれることを目的とする。   | 「芭蕉」にとっての旅というものを通じて、彼独自の人生観や俳諧観を理解することが目標である。   |
| 17GBSH0009 | 「心中天網島」の女房「おさん」 | 全て | 心中物に登場する当事者以外の人（脇役）でありながら、『心中天網島』において主役にも比すべき重要な役割を演じる「紙屋住兵衛」の女房「おさん」の場合について考察する。  | 「おさん」を初めとする登場人物それぞれの心の動きや、その妥当性・合理性を確認することが目標である。   |
| 17GBSH0010 | 日本近代文学の魅力Ⅰ      | 全て | 近代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその内容を把握する。  | 作品内容の個性性と普遍性について考え、自分なりに解釈できるようになる。   |
| 17GBSH0011 | 日本近代文学の魅力Ⅱ      | 全て | 近代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその内容を把握する。  | 作品内容の個性性と普遍性について考え、自分なりに解釈できるようになる。   |
| 17GBSH0012 | 宮沢賢治 童話の世界      | 全て | 宮沢賢治の童話を読み、教養を高めるとともに、自分の言葉で宮沢賢治の世界を語ることで、作品を通して人間としての在り方や生き方に関する深い洞察、現実を正しく理解する力を身に付けることを目的とする。   | 宮沢賢治童話の独特な世界観を味わうとともに感性を養い、自分を見つめることができる。   |

| 科目番号       | 科目名           | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|---------------|----|--|--|
| 17GBSH0013 | 文章理解のスキル      | 全て | 文章読解力、対話力、レポート作成力などの基礎的なスキル獲得を目指す。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な文章読解力が身に付けられている。</li> <li>ディスカッション等の対話力が身に付けられている。</li> <li>100字程度の報告書作成から3000字程度のレポートを書く文章力が身に付けられている。</li> <li>自己を「ふりかえる」力が身に付けられている。</li> </ul> |
| 17GBSH0014 | 文章表現のスキル      | 全て | 情報収集・情報分析・課題発見・構想・表現のプロセスに即して、個人・ペア・グループなどでのワークを行いながら、論理的に書くスキルの習得を目指す。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>〈情報収集→情報分析→課題発見→構想→表現〉という問題解決のプロセスに即した文章作成の方法が身に付けられている。</li> <li>資料や情報をもとに、自分の主張を論理的に述べるレポート作成のスキルが身に付けられている。</li> </ul>                             |
| 17GBSH0015 | 文章を読み解く技法     | 全て | <p>新書等の書籍や大学のテキストおよびこれと同等レベルの文章を読み、理解する読解力を身につけることを目的とする。そのためには抽象的な表現を理解し、頭の中で抽象的な概念を操作し、自らも抽象的な思考ができるようになることを意味するが、この能力は日常会話レベルの言語生活に終始しているうちは伸ばすことはできない。活字に導かれ、書き手の思考にしたがって、精確に文章の論旨をたどるという作業を通して初めて培われる。</p> <p>また、文章の内容が理解できたかどうか (input) は、理解した内容を改めて言葉で説明できるかどうか (output) で判断できる。読む技術は書く技術にも通じるといふ観点から、読解力とあわせて論述力の養成も目的となる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>新書やそれと同等レベルの文章を正しく読み、理解する読解力を修得する。</li> <li>読解力の養成にあわせて、受けとめた情報を再発信できる論述力を養うこと。</li> <li>抽象的表現や思考に慣れ親しむことで、新しい知見や考察に対応できる柔軟性を養う。</li> </ul>           |
| 17GBSH0016 | 論理的に考え書く技法    | 全て | 文章を読むことで取得した情報を「考察」し自己の考えや主張を踏まえた「論理的な」文章を構成する力、簡潔に内容をまとめ、わかりやすく発信する文章作成力を養成する。  | 100字程度の報告書作成から1000～2000字程度のレポートを構成し、書ききる文章力を身に付けることを目指す。   |
| 17GBSH0017 | グリム童話の中の女性たち  | 全て | 西洋のメルヒェンを学びながら、その中に現れる女性の生と性、男性の生と性を観察することによって、西洋文化を別の視点から見る目が養える。それによって日本女性である自分の生と性を、より正確に偏見なく把握できるようになれば、というのが担当者の願いである。  | 伝承文学であるグリム童話を通して西洋中世の人々の生活をジェンダーの視点から考察できるようになる。「女らしさ」「男らしさ」が時代や社会によって変わるジェンダーであることが認識できるようになる。  |
| 17GBSH0018 | フランス文学と文化 I   | 全て | 近世から近代にかけてのフランス文学作品の中から代表的な作品を選び、時代背景の解説を含めて紹介してゆく。その内の映像化された数点の作品を鑑賞したり、それら以外の映像をも参照しながら、今なお多くの人々を引きつけてやまないフランス文学やフランス文化の豊かさの一端に触れる機会にしたい。  | フランス文学の過去の名作を鑑賞することにより、現代の日本とは歴史的にもまた地理的にも異なる時代のフランスの文化や社会に触れ、学生の異文化への理解を広げると同時に綿々と続いている人間の営みに思いめぐらす機会とする。   |
| 17GBSH0019 | フランス文学と文化 II  | 全て | 19世紀の前半から20世紀に至る近代以降のフランス文学作品の中から代表的な作品を選び、時代背景の解説を含めて紹介してゆく。その内の映像化された数点の作品を鑑賞したり、それら以外の映像をも参照しながら、今なお多くの人々を引きつけてやまないフランス文学やフランス文化の豊かさの一端に触れる機会にしたい。  | フランス文学の過去の名作を鑑賞することにより、現代の日本とは歴史的にもまた地理的にも異なる時代のフランスの文化や社会に触れ、学生の異文化への理解を広げると同時に綿々と続いている人間の営みに思いめぐらす機会とする。   |
| 17GBSH0020 | シェイクスピア入門     | 全て | 「文学」と聞いたとたん顔そむける人や、「文学」なんて退屈で小難しいものだと決めつけてしまい毛嫌いな人がいるが、そういう人にこそこの講義は履修してもらいたい。「文学」の楽しさを味わってもらえれば、と願っている。   | 「文学」に対する理解を深める。TVや映画をただ観るだけでなく、自分で読み取る能力を身につける。  |
| 17GBSH0021 | 源流としてのシェイクスピア | 全て | 「文学」と聞いたとたん顔そむける人や、「文学」なんて退屈で小難しいものだと決めつけてしまい毛嫌いな人がいるが、そういう人にこそこの講義は履修してもらいたい。「文学」の楽しさを味わってもらえれば、と願っている。   | 「文学」に対する理解を深める。TVや映画をただ観るだけでなく、自分で読み取る能力を身につける。  |
| 17GBSH0022 | 日本史の中の女性たち    | 全て | 日本の歴史上、各時代において女性が果たしてきた役割と機能について考察することで、現代社会における生き方について考える素材とする。   | 日本の歴史上、女性が果たしてきた役割と機能について理解し、女性として現代を生きるための指標を獲得する。  |
| 17GBSH0023 | 日本の画像文化論      | 全て | 描かれた資料から、日本社会の歴史や生活、文化について、立体的に理解することを目標とする。   | 過去に描かれた画像メディアから、その目的や意図を読み取ることで、当該時代の歴史、生活、文化等について理解する。画像メディアを例として、資料、メディアから情報を収集するための考え方、技術を身につける。  |

| 科目番号       | 科目名         | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|-------------|----|--|--|
| 17GBSH0024 | 日常生活からの哲学入門 | 全て | この科目では、西洋と日本の哲学者の議論を紹介しながら、「見る」「触れる」「感じる」といった日常にありふれた経験を分析する。これらの経験について考えた哲学者たちの議論の仕方を学ぶことによって、哲学的な分析の手法を身につけることを目標とする。  | 西洋哲学の基本的な言葉遣いを学ぶことで、西洋文化の基礎にある考え方を理解する。<br>言葉を用いて問題を発見し、整理し、論理的に考える力を身につける。<br>一つの経験に対して複数の考え方がありうることを理解し、それぞれの考え方の狙いを踏まえて主体的に判断する力を身につける。 |
| 17GBSH0025 | 現代フランスの音楽事情 | 全て | フランスの音楽事情を通してフランスの一面を学ぶと同時に、音楽と社会について考察できる力を培う。また、フランスの例から日本の音楽事情にも考えを巡らせる思考力を身につける。   | フランスにおける音楽活動や文化政策の一端を知ることで、異文化理解につながる。   |
| 17GBSH0026 | ミュージカル歌唱法   | 全て | 歌は自分を表現することである。心と体をリラックスさせ、感性を磨いて何事も積極的に取り組める事を目標とする。  | 15回の授業で、学生達が発声方法を学び楽曲をしっかりと演奏できる事を目標とする。   |
| 17GBSH0027 | 合唱表現Ⅰ       | 全て | 健康な声での歌唱を目指す発声テクニックの習得、読譜力の向上、他声部を聞き、合わせ合唱する。<br>正確な音程で音楽的な歌唱を目指す。   | 譜読みの能力を養い、楽譜を見る事で歌える初見能力をつけること。<br>他のパートの声を聞きながら歌うことで、協調性を養う事を目標とする。   |
| 17GBSH0028 | 合唱表現Ⅱ       | 全て | 健康な声での歌唱を目指す発声テクニックの習得、読譜力の向上、他声部を聞き、合わせ合唱する。<br>正確な音程で音楽的な歌唱を目指す。   | 譜読みの能力を養い、楽譜を見る事で歌える初見能力をつけること。<br>他のパートの声を聞きながら歌うことで、協調性を養う事を目標とする。   |
| 17GBSH0029 | 音楽の科学       | 全て | 音楽は今も昔も私たちの生活の一部であり、暮らしに彩りを添えてくれる。近年の研究において、音楽を聴く、歌う、演奏するといった活動を行っている時には、脳の様々な領域が働いていることがわかってきた。本講義では、音楽の科学的な側面に焦点を当て、音楽を享受する人間の本質の一端を明らかにすることを目標とする。  | 人間にとってなぜ音楽が身近で大切な存在なのかを授業全体を通して学び、音楽に対する広い視野と洞察力を養う。また、「音楽と脳科学」に関する様々なトピックスから、一般の人の脳活動と音楽家の脳活動の違いを理解する。                                    |
| 17GBSH0030 | 斜めからみる西洋音楽  | 全て | ある対象を斜めから眺めてみると、正面だけではなく、側面や背景全体をも見渡すことができる。西洋音楽をそうした対象のひとつとしてとらえてみると、楽曲そのものを真正面から分析するだけではなく、いかなる背景に基づいてその楽曲が生みだされたのか、それらを人がどう演じ、どのように聞いたのか、さらには人々の音楽への嗜好が何によって変化していったのか、といった点に関する心理学的・社会的・史的etc観点からの検討も可能になるだろう。このように本科目の目的は、西洋音楽を、人との関わりを軸に「斜めからみながら（学際的に）」考えていくことである。 | 1. 音楽の成り立ちや変遷について、多様なとらえ方ができることを学ぶ。<br>2. それを踏まえ、西洋音楽のさまざまな楽曲について、総合的な視点から味わい、考えることができる。   |
| 17GBSH0031 | 先端芸術表現      | 全て | 膨大な情報そしてモノが溢れる現代社会において、芸術表現の手段となり得るメディアは多岐に渡る。先端芸術の「今」を理解し自ら表現することを通して、芸術表現の可能性に挑む。  | まずは昭和末期から平成の今現在に至る国内外のアート・シーンの概況を捉える。そしてそこに現れた数多の技法や思考法のいくつかを理解し、自らの作品へと反映させる。コンセプチュアルな表現も多いことから、構想から制作そして作品化のプロセスを「ことば」として明確にする。          |
| 17GBSH0032 | 生活の中の美的感動表現 | 全て | ひとりひとり顔が違うように同じものを描いても、それぞれ異なったニュアンスがある、それが個性である。この授業を受けることで個性の再発見、再認識するきっかけを目的とする。  | 模写することにより大切なところを学習し、ガラス絵制作によりもの作りの達成感を得ることを到達目標とする。  |
| 17GBSH0033 | 自己発見アート     | 全て | アート表現を使ったセラピー的学習。ものを創造し、表現していく過程から、普段の生活では自覚しにくい潜在的な自己を発見する。自分自身をうまく表現する術、自発的にものを考える力、さらには、人とうまくコミュニケーションをとる手段などを身につける。  | 自分自身をうまく表現する術、自発的にものを考える力、さらには、人とうまくコミュニケーションをとる手段などを身につける。  |
| 17GBSH0034 | 未来造形        | 全て | 未来について考え、そのイメージを作品として表現することで、現代を生きる自分自身が未来を構築していくための一員であることを自覚する。既成概念に捕われぬ発想力や想像力の育成と、基本的な表現技術の習得。   | 物をつくる過程を通し、創造する喜びを知る。また、他の人の作品を通し未来の多様性を感じる。   |

| 科目番号       | 科目名           | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|---------------|----|--|--|
| 17GBSH0035 | 日本舞踊に学ぶ着付けと作法 | 全て | この科目は、和の文化 日本舞踊に触れながら、一人でできる着付け・人に着せる着付けを学ぶ。そして楽しみながら自然にマナーを学び、美しい身のこなしや人とのつき合い方を身につけることを主な目的としている。  | “舞い”・“踊り”・“仕種”から構成される日本舞踊の作品に触れ、伝統芸術を理解し、国際化時代にふさわしい品格を忘れない魅力的な女性を目標とする。   |
| 17GBSH0036 | ミュージカルの実践     | 全て | ミュージカルを幅広く知ってもらうため、本講義ではその入門編として概論・実践の双方を学習する。   | 概論・実践の双方を学習した上で、セメスター修了時にミュージカル作品の中から数シーンを研究上演する事を目標としている。   |
| 17GBSH0037 | 感性の書          | 全て | 日本独自の仮名文字の変遷をたどりながら、創作の楽しさを実感させる。  | 書の美の表現の多様性を理解する。   |
| 17GBSH0038 | 書の世界          | 全て | 書の創作の楽しさを実感させる。  | 書体美に対する意識を深める。   |
| 17GBSH0039 | 歌舞伎鑑賞入門       | 全て | 日本の伝統芸能の一つである歌舞伎について学び、その魅力に触れるとともに、そうした芸能を育んできた我が国の文化についても理解を深めることを目的とする。   | 歌舞伎についての基本的な知識を身につける。歌舞伎の面白さを理解する。江戸時代の文化についても理解を深める。  |
| 17GBSH0040 | 文化としての暦       | 全て | 人間は「人の間」を生きる存在であると同時に「時の間」を生きる存在でもある。その「時の間」を生きる人間は、時間の整理法としてさまざまな暦を考案してきた。人間と時間の関係史を暦という文化的現象から探っていく。   | 人間の文化に対する関心を広げ、過去の知恵を認めることで未来への視座を培う。  |
| 17GBSH0041 | 日本の文化 I       | 全て | This course will aim important concepts of Japanese culture. Students will be asked to apply these concepts to current Japanese life and think critically about Japanese belief systems, ways of interacting and creative expressions. We will discuss what it means to be an international student in Japan or being Japanese in the context of daily life in Kansai. | As a result of taking this course, the student will be able to:<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• increase awareness of Japanese society and how it functions as well as the culture behind its systems.</li> <li>• make connections from given reading materials to cultural concepts or peoples' real-life experiences.</li> <li>• express and share your thoughts and opinions with your peers.</li> <li>• prepare and deliver organized presentations in small groups and to whole class.</li> </ul> |
| 17GBSH0042 | 日本の文化 II      | 全て | This course will aim important concepts of Japanese culture. Students will be asked to apply these concepts to current Japanese life and think critically about Japanese belief systems, ways of interacting and creative expressions. We will discuss what it means to be an international student in Japan or being Japanese in the context of daily life in Kansai. | As a result of taking this course, the student will be able to:<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• increase awareness of Japanese society and how it functions as well as the culture behind its systems.</li> <li>• make connections from given reading materials to cultural concepts or peoples' real-life experiences.</li> <li>• express and share your thoughts and opinions with your peers.</li> <li>• prepare and deliver organized presentations in small groups and to whole class.</li> </ul> |
| 17GBSH0043 | 遊びの人類学        | 全て | 本科目は「遊びとは何か」、遊びを文化の問題として考える。<br>遊びを文化として理解することの重要性は、遊び現象のなかに社会と文化が投影されていることを読み解いていくことにある。近年、遊びを「する」と同じくらいに遊びを「考える」ことが魅力的なものとなってきている。<br>遊びに凝縮・刻印されている文化と社会を文化人類学のアプローチによって、異文化理解と自文化理解の展望のもとに考察を進めていく。   | 到達目標は二つある。一つは、遊びのもつ多様性を考察することによって遊びと当該社会との関連性を理解すること。そして、遊びの本質を理解することによって、人が人らしく生き、豊かさが実感できる社会を実現するために遊びを活用する方策を創造できる力を養うことである。  |
| 17GBSH0044 | 日本語表現入門       | 全て | 現代を生きる教養人として必要な、基本的な言語表現能力を習得することを目的とする。   | 論理的に思考し、相手を意識した言語表現力を養う。   |



| 科目番号       | 科目名          | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|--------------|----|--|---|
| 17GBSH0045 | 薬と心理学        | 全て | <p>日常生活の中でストレス問題は避けられない。特に教育、福祉、医療、災害地での、対人援助は非常にストレスが高い職場といえる。そのような環境の中で、体調を崩すとき、人はすぐに病を自覚して医学的対応をするのであろうか。時には「病は気から」と軽視され症状が悪化してからの医療受診になっていないだろうか。また、安易に栄養補助食品やサプリメントといった健康食品で健康を保とうとしてはいないだろうか。昨今健康食品が原因と疑われる健康被害が多く発生しており、安易な薬や健康食品の摂取には問題があると思われる。そこで自ら心身の状態を正確に知り、身体的・心理的ストレスへの対応を正しく行うことが、病気の予防を行う上に重要である。自己の生活や性格の見直し、心身の健康を保つための知識や自己管理について学ぶことを目的とする。</p> | <p>日常での対人援助は広くは、社会生活全般にあるが、職場・学校・家族そして子育てにも必要なものである。その中で、人とのかわり代りて起こるイライラや不安、時には心身症といった病気に対して、正しく向かい合い、安易に薬やその周辺の健康食品に頼らず健康的な生活を維持する知識を得る。病気の予防に日常からの自身の健康状態や性格を理解し、自己の健康管理能力を高める。また、対人援助に役立つ知識を得ることを目標とする。</p> |
| 17GBSH0046 | こころとからだの心理学Ⅰ | 全て | <p>この教科は、教育、保育、育児に関する仕事に関わりたいと考える学生に、子どもの発達を胎児期から就学前までの急激に発達する時期に焦点をあて、子どもの成長と発達の基本的知識の理解を深めていく。子どもの福祉にとって必要な、教育、保育、心理的援助を発達心理学の観点から学ぶことを目的とする。</p>  | <p>胎児期・乳幼児期から就学前までの身体の成長と心身の発達について、基本的な知識を正確に理解する。<br/>子どものこころとからだを守るために、どのように援助していけばよいかを学んでいく。<br/>人生初期の乳幼児期の成長・発達には、生得的素因以上に、生育環境や社会環境の中での経験が重要であることを知り、将来の社会活動、職場、家庭生活に役立てることを目標とする。</p>                     |
| 17GBSH0047 | こころとからだの心理学Ⅱ | 全て | <p>子どもが人として育つ過程において、全ての子どもが、その子なりの発達を完結するための環境を、社会や大人は整えていく必要がある。しかし今の子どもの環境は、物質的には豊かになっているが、精神的発達には望ましくない状況も見受けられる。高度成長する社会の中で、どのように子どもが育つことが大切か、発達心理学の観点から学ぶことを目的とする。</p>  | <p>子どもの心とからだの成長発達するのによい環境とはなにかについて考える。そして、自分自身が子どもの発達を支える社会の一員として何が出来るかを考えながら学ぶ。<br/>子どものこころとからだ、人の中で健康に育つとはどういうことなのか、対人関係を中心に学び、適切な対応と支援ができる援助者になれることを目標とする。</p>   |
| 17GBSH0048 | 心理学入門        | 全て | <p>本科目は心理学を初めて学ぶ人を対象として、心理学の基本的な考え方や方法論を理解することを目的としている。また、ここでは科学としての心理学を理解し、自己理解や身近な生活への活用について考える。</p>   | <p>①心理学についての基本事項を理解し、説明できる。<br/>②心理学の知識を用いて、自己分析ができる。<br/>③心理学的視点から、日常生活や社会生活についての考えを深めることができる。</p>   |
| 17GBSH0049 | 人間関係の心理学     | 全て | <p>私たちは日々、誰かと関わって生活している。人間関係は大きなストレスにもなる反面、心に安らぎも与えてくれるものである。この科目では、人間関係について心理学的に理解することを目的としている。</p>   | <p>①人間関係に関する心理学の基本事項を理解し、説明できる。<br/>②グループワークなどを通じて変化する自分自身について分析できる。<br/>③心理学的視点から、日常生活や社会生活についての考えを深めることができる。</p>  |
| 17GBSH0050 | 心理学実践演習      | 全て | <p>「心理学は古いこと?」「心理学を学んだら人の心が読める?」など、心理学という言葉に漠然としたイメージを持つ人も多いと思われる。この科目では、心理学の研究を実際に体験しながら、科学としての心理学を理解することを目的としている。</p>  | <p>①心理学研究法の基本を説明できる<br/>②意欲・関心をもって、他者と協力しながらデータ収集に取り組むことができる<br/>③図表などを用いて、得られたデータを適切にまとめることができる<br/>④結果から分かったことを文章で論理的に他者に説明できる</p>  |

基礎教養科目群 社会科学科目

| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|-----------------|----|---|--|
| 17GBSS0001 | アウシュビッツ 戦争と女性   | 全て | 戦争に対する関心は一昨年「戦後70年」を機に高まりを見せ、16年度後期の受講希望者は800人に近づいた。学生が、これまで学んできた「戦争」は年表や地名・人名を記憶する「現代史」の一部であった。その時代を生きた人々の息遣いを感じる教育に巡り合っただけでなかった。たしかに戦争体験者は減っていく一方である。戦争遺跡も消えている。戦争を可視化できない時代になっている。しかし、若者の関心は薄れるばかりだろうか。人間の歴史として位置付ければ、きっと興味を待つはずである。この授業は、ここに力点を置く。第二次大戦の最大の惨禍とされるアウシュビッツとヒロシマ、そしてわが国で唯一戦場となった沖縄。兵士ではない女性たちにも容赦なく悲劇は襲った。新聞記者としてその場に立ち、膨大な証言と遺品に向き合ってきた。伝えるべき事実は今も存在する。きっと初めて知ることが多いだろう。しかし、この講義に登場するのはすべて、みなさんと年齢の変わらない女性ばかりだ。身近に感じることができる、と考え「戦争と女性」をキーワードにした。戦争遺跡の保存、証言者からの継承など、新しい試みを織り交ぜる。現代の戦争にも触れる。映像、写真を駆使し、遺品や遺書も数多く登場させる。 | 「戦争はいけない」。それは小学生の感想である。大学生ならそこから一步踏み出さなくてはならない。目を背けていては何も生まれない。向き合うことからのながが始まる。酷い事実や映像も出てくるが、これまでも受講した多くの学生が凝視してきた。ポーランドのアウシュビッツを訪問した学生もこれまでに9人いる。広島・長崎、沖縄に行き、授業で学んだ戦争を現地で追体験した学生も多い。このように生まれた関心を「行動」にまで高めることは大事なことである。戦争を考える場は数多くある。「火垂るの墓」もここ西宮が舞台だ。母となって子供たちに関わってもらった経験がないぐらいの知識は身につけてみよう。この授業を通じて、祖父母の戦争体験を聞くようになった学生たちも多い。自宅に持ち帰った授業資料をもとに家族と語り合うという人も。戦争を遠い世界の出来事と思わないようになること。それを目標にしよう。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という言葉がある。その意味を確かめる機会にもなる。 |
| 17GBSS0002 | 世界の大学事情         | 全て | ここ30年くらいの間に急速に高等教育への進学率が上昇し、進学者が増加している。高等教育の大衆化である。なぜ世界各国においてこうした大衆化が急速に進んだのか、各国では大衆化に伴いどのような事態が進行しているのか、大衆化が大学教育にいかなる変化をもたらしたのかなどを理解し、現代社会における高等教育の意義、国際社会の中でのあり方を考える契機とする。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り上げる国々で、どのようにして大学が発達していったのか、その歴史と特徴を知る。</li> <li>・なぜ近年、各国で大学進学率が大きく伸びているのか、国々を取り巻く状況やグローバル化の影響を考える。</li> <li>・大学で学ぶことの効用、大卒者の割合を高まることによる社会インパクトについて考える。</li> <li>・各種データを示すので、そのデータから大学を取り巻く変化の要因や課題について解釈できる。</li> </ul>  |
| 17GBSS0003 | 情報化と教育          | 全て | グローバル化や情報化の進展など、変化の激しい社会を生き抜く子ども達の教育の在り方が問われている。学校現場や教育行政が抱える諸問題について理解を深めるとともに、グループ討議や自主研究を行う中で、思考力、判断力、表現力を育成するとともに、協働的な課題解決の姿勢を養う。  | 学校教育の新しい流れについて理解を深める。とりわけ、ICTを活用した情報化の進展について現状と課題を理解すること。併せて、成長段階にある子ども達への影響や子どもへの関わり方について、自らの考えを明確にできること。   |
| 17GBSS0004 | 道徳教育と私たちの生活     | 全て | 本科目は、「道徳教育」とは何であるかを考え、それを日常生活と結びつけていくことを目的とする。これまで小中学校などで受けてきた「道徳の授業」などを思い出し、現在の自分と結び付けて考えていく。  | <ol style="list-style-type: none"> <li>①道徳教育について、関心を持って自ら考えられる。</li> <li>②道徳教育に関する考えを文章で論理的に説明できる。</li> <li>③道徳教育について他者と協同で考え、自らの考えを深められる。</li> <li>④グループで考えた内容を分かりやすく発表することができる。</li> </ol>   |
| 17GBSS0005 | グローバル化社会と対話力    | 全て | 本講義では、社会科教育で取り扱う学習内容を中心として、グローバルな視点からわたしたちのくらしと社会について考察する。社会における日本の役割など、現実社会の諸課題を協働して探究し、合意形成や社会参画を視野に入れ、対話する力を育成する。  | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 社会の主体者となるために、様々な課題の解決に向けた探究心の育成。</li> <li>(2) グローバル化する社会で主体的に生きるための必要な能力を養うこと。</li> <li>(3) 必要な情報を効果的に収集し、対話する力が高まることを到達目標とする。</li> </ol>   |
| 17GBSS0006 | 差別と暴力のない世界をめざして | 全て | 急激な変化を見せている現代社会において、未来世代の子どもたちと共に新しい人権・平和文化を育むことは、教養教育に課せられた大事な仕事である。そのために、人権・平和に関する諸問題について研究を行い、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間形成のあり方を探求する。   | 人権、平和に関する諸問題が生じる要因について、科学的に認識するとともに、その解決に向けて行為、行動できる市民的資質、力量の修得を目指す。また学習過程において、自ら問題意識を深め、課題を発見し、自主研究できる能力を身につける。   |
| 17GBSS0007 | 人権教育論           | 全て | 1948年国連において世界人権宣言が採択されました。その後も今日に至るまで、人権保障のための様々な努力がなされている。人権問題は、かつては個人に対する国家の人権侵害が深刻な問題であったが、グローバル化が急速に進む中で、これまでの人権論では想定できない新しい人権問題も起こっている。この講義では、現代の多様化した人権問題を解説し、人権感覚を十分に身につけ、すべての人々の人権が尊重され、平和で豊かな社会を築く市民としての資質を学ぶ。   | グローバル化の進展により、社会の事象がさらに複雑化し、園生越しに伴ってさまざまな新しい問題が発生している。その表面的な事象に感わされることなく事実の本質を見抜き、人権を尊重する考え方や行動のあり方を身につける。  |

| 科目番号       | 科目名            | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|----------------|----|--|--|
| 17GBSS0008 | カウンセリングの実際     | 全て | さまざまな分野から必要性が求められているカウンセリング、その実際を理解し、基礎力をつける   | <p>カウンセリングの基礎が身につく</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対人支援において人を理解することの説明ができる</li> <li>2. 心のバランスを崩した状態の説明ができる</li> <li>3. 性格や心の葛藤についての説明ができる</li> <li>4. 聴き手の基本的な態度を習得する</li> </ol>   |
| 17GBSS0009 | カウンセリングスキル     | 全て | 現在、関心を集めている心理カウンセリング<br>人を支援すること（ヒューマンサポート）を目的としたカウンセリングの具体的な技術を身につける  | <p>カウンセリング技術（スキル）についての理解と実践</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人とかかわるときの言葉かけや質問の仕方が身につく</li> <li>2. 非言語コミュニケーションについて説明ができる</li> <li>3. 人を支援するときのさまざまな価値観について説明ができる</li> <li>4. 人や家族を支援するときの基礎的な面接技術が身につく</li> </ol>   |
| 17GBSS0010 | 実践カウンセリング      | 全て | カウンセリングの基本的な考え方、方法を学び、生活や仕事に役立つ実践力をつける   | <p>カウンセリングを実践する基礎力が向上する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人を支援するときの原則が説明できる</li> <li>2. 人の話を聴くときの基礎力が身につく</li> <li>3. 人や家族を理解することの説明ができる</li> <li>4. グループで協力して支援する意味を説明できる</li> </ol>  |
| 17GBSS0011 | 生きがい探しのボランティア論 | 全て | 生きがいとは、本来自分自身で見つけるものです。他人に強制されるものではありません。人生の入り口にいる若い皆さんが、悩んでいることも事実です。ボランティアという行為を通じて少しでも自分自身の良さに気づき他者への温かい眼差しが持て、また自分自身で考え行動できる人になれることを望んでいます。                  | <p>1995年1月17日早朝に起きた阪神・淡路大震災。その救援活動に、全国から多くのボランティアが馳せ参じました。これをもって、ボランティア元年と称しました。これ以降、ボランティアという言葉が、一般的になりました。しかし、改めてボランティアの意義や歴史を学ぶことで自分の生きる座標軸を見つけます。実際に大学や地域の各種のボランティアに参加するように促し、実践への足掛かりにしていくことを目標としている。</p>   |
| 17GBSS0012 | 生涯福祉論          | 全て | 私たちが日常生活において、快い生活を送るためにどのように社会福祉が関わっているかを「ゆりかごから墓場まで」の生涯をテーマに身近な社会福祉の内容を学習していく。学習を通して、社会や福祉に関する問題や課題とすることが自分自身にも関わっている事であることを知り、自分の今後の人生において学んだことが活用できることを目的とする。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学んだことを必要に応じて実生活の中で活用できる。</li> <li>2. 学んだ社会福祉の基本的な制度が自分の身近な生活の中に関わっていることに気づける。</li> <li>3. 社会福祉において「快い生活」とは何かを自分なりの答えを見いだせる。</li> <li>4. 双方向授業とグループワークによって、考える力を養うことができる。</li> <li>5. 自分の考えを言葉にして他者と共有することから、新たな学びがある。</li> </ol>   |
| 17GBSS0013 | 社会福祉とボランティア    | 全て | ボランティア経験がある、なし関係なく、他者の意見や考えを聴きながらボランティアとはいったい何か、なぜボランティアが必要とされているのかについて社会福祉の側面から改めて学び、考える機会とする。同時に、ボランティアが人間の「生きる力」にどのように影響を与えているのか考えることも目的とする。                  | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 社会福祉制度の基本的な知識の一部を得ることができる。</li> <li>(2) 自分自身にどのような「生きる力」があるのかを知り、自分自身が今後の社会や生活で困難な状況に陥った時にでもその力を発揮して乗り越えていこうという気持ちを持つことができる。</li> <li>(3) 他者の持つ「生きる力」について考えることができる。</li> <li>(4) ボランティアについて考え、実生活でボランティア活動に更に興味と関心が持てるようになる。</li> <li>(5) 高齢者施設について学び、そのいずれかの施設で自主的にどのようなボランティア活動ができそうかを実際にグループで考えていける「きっかけ」作りとなる。</li> </ol> |
| 17GBSS0014 | 聴覚障害者の理解と手話    | 全て | 聴覚障害者の理解に関する基本的な事柄を学ぶことにより、広く障がいのある人々を理解すると共に、グローバルな視野に立って、共生の時代の意味を考える。また、聴覚障害者のコミュニケーション手段の1つである手話について、簡単な日常会話ができる程度の基礎的内容を養うことを目的としている。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害者理解の基本的なところを学ぶ。</li> <li>・聴覚障害者のコミュニケーション手段の一つである手話を使って、簡単な日常会話ができるようになる。</li> </ul>   |
| 17GBSS0015 | 福祉レクリエーションの実際  | 全て | 福祉レクリエーションとは、高齢者や障がい者に多く見られる生活支援を必要としている人々に対して、身体的・精神的な健康の回復を意図して行われるレクリエーションの一分野である。ともすれば、特別扱いされ敬遠されがちな分野から、コミュニケーションやレクリエーションの意義や方法について、個人の身近な環境を切り口に考えていきたい。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な福祉の環境について考察する</li> <li>●レクリエーションの意味を体感する</li> <li>●身近な福祉の環境を想定しながらレクリエーションを計画する</li> <li>●身近な福祉の環境にレクリエーションを実施する</li> </ul>   |



| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|-----------------|----|--|---|
| 17GBSS0016 | 子育てと家族関係        | 全て | 家族の中には、夫婦、親子、兄弟姉妹などといったさまざまな関係が存在している。将来、親として子どもに接する自分像、あるいは家族像を構築するために、青年期から成人期における女性の発達をこれらの家族関係とのかかわりでとらえることにより、現在の家族の一員としての自分を再確認することを目的としている。 | 家族の意味と機能を見直し、家族の中の人間関係について理解を深める。   |
| 17GBSS0017 | 現代家族論           | 全て | 家族とそれを構成する個人や社会との関係を、様々な視点から論じる。講座を通して、現代家族の理解を深め、自分が生まれ育った現在の家族に感謝する気持ちを持ち、また将来の人生設計における家族構築の可能性を真剣に考える機会を得る。                                     | 人間が一生のうちに経験する家族の数には限りがある。多様な家族のあり方が存在することや現代家族における問題点を知ることにより、生涯にわたるライフデザインの参考にする。  |
| 17GBSS0018 | 「ふつう」を考える社会学    | 全て | 私たちは、「ふつう」という言葉をよく使う。その「ふつう」とは、どこまでが「ふつう」で、どこからが「ふつうでない」のか？境界線がどのようにしてつくられるのかを考え、生活世界について多様な見方ができる力をつける。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を単体で見るとは、相対的に理解する力</li> <li>・情報を鵜呑みにするのではなく、社会的状況の文脈において理解する力</li> <li>・物事を今という状況だけでなく、歴史的な文脈において理解する力</li> <li>・科学的知を生きていく力に活かす力</li> </ul>  |
| 17GBSS0019 | 子育てと母性の気づき      | 全て | 現代は、女性の社会進出によるライフスタイルの変化や、日常生活における乳児との接触機会の減少などの影響により、「産む」「育てる」ことが、個々の選択により委ねられる時代になったといえる。これをふまえた上で、出産というライフイベントに対する興味を喚起することを目的としている。            | 母親に対するイメージを再構築し、母性に対する理解を深める。   |
| 17GBSS0020 | 女性と子どものヘルスケア    | 全て | この科目の女性のヘルスケアに関しては、思春期から老年期までの女性に特有な健康課題、および健康を増進し、疾病を予防するためのセルフケアについて学ぶ。さらに子どもの成長に伴う身体的特徴、病気や事故の予防のための手立てや対策、罹りやすい病気や症状に対するケア方法について学ぶことを目的とする。    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 女性に特有な健康課題を述べることができる。</li> <li>2. 女性の健康増進と疾病予防のためにできるセルフケアを説明できる。</li> <li>3. 自らの健康や、女性の健康に関する社会問題への関心の高まりを示す。</li> <li>4. 子どもがどのように成長し、どんな身体的特徴を持っているかを説明できる。</li> <li>5. 子どもが罹りやすい病気や起こりやすい症状に対する知識とケアの方法をあげることができる。</li> <li>6. 病気や事故に対する予防方法について説明できる。</li> </ol> |
| 17GBSS0021 | 日本国憲法           | 全て | 日本国憲法は施行から69年が経過し、私たちの社会に着実に根付く一方、多くの新しい課題にも直面している。これらを視野に入れながら、日本国憲法の理念・体系・機能等について学ぶ。   | <p>授業等を通じて、受講者が次に掲げる能力を養成できることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 日本国憲法の成立事情や基本原理・構造・規定内容等を統一的に説明できる。</li> <li>② 日々の生活の中で起こる諸問題を日本国憲法に基づいて実際的に解明できる。</li> </ol>  |
| 17GBSS0022 | 日本国憲法           | 全て | 日本国憲法が我々の生活、生き方にどのようにかかわっているのかを、理論的に学ぶ。  | <p>憲法への関心を高める。</p> <p>憲法の基礎を理解できる能力を身につける。</p> <p>学校教育と憲法とのかかわりについて、自ら考える能力を身につける。</p>  |
| 17GBSS0023 | 都市形成のあゆみと都市生活   | 全て | 私たちがとりまく都市が、どのようにして生まれ成長してきたのかを読み解くことで、普段何気なく暮らしている都市や都市での生活について再認識することを目的とする。   | 都市や都市での生活の再認識をおこなうことにより、現代都市の課題と将来展望を認識し、社会の一員として、まちづくりやエリアマネジメントの必要性を理解し修得することを目標とする。  |
| 17GBSS0024 | CSビジネスコミュニケーション | 全て | 「コミュニケーション」「ホスピタリティ」「CS - 顧客満足」の3つの理論を学ぶことで、社会が求めるコミュニケーション力の技量アップを図り、実社会で即戦力となりうる人材の育成を図る。演習・実技を通し、各回の内容を知識として「知る」だけでなく、「できる」ようになることを目指す。         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人に求められる言葉使いと話し方を習得する。</li> <li>・信頼される社会人になるための表現方法とコミュニケーション能力を身につける。</li> <li>・ホスピタリティの重要性を理解し、より良い人間関係の構築につなげる。</li> <li>・社会における企業の役割を理解し、働くことの意味を知る。</li> </ul>  |
| 17GBSS0025 | 会社のしくみ          | 全て | 日本経済は、約250万社にも及ぶ会社とその活動を中心に動いている。本講義の目的は、会社へ就職の前に、会社の仕事やしくみについて種々の知識を得ることである。  | 会社の財務や組織運営や社会との関わりを理解すること、日刊新聞・経済欄や経済ニュースの内容を、より深く理解する上で必要となる基礎知識を得ることを目標とする。   |
| 17GBSS0026 | 消費者生活論          | 全て | この科目は、消費者が正しい知識を持ち、確かな目で商品やサービスを選択し、安全、安心で豊かな生活を手にすることができる、自立した消費者市民をめざすことを目的とする。  | 学生が授業を通じて、消費者市民として個々の特性を尊重し、社会、経済、環境など幅広い視点から消費生活について論理的に思考し、問題解決力を養うことを目標とする。  |



| 科目番号       | 科目名            | 学年 | 科目目的  | 到達目標  |
|------------|----------------|----|---|---|
| 17GBSS0027 | 英語ニュースからみた日本社会 | 全て | 海外メディアに取り上げられた日本に関するニュースを教材として用意し、その読解とともに、その取り上げられ方、論じられ方を中心に理解を深める。それは外国メディアという異文化を鏡として、日本がどのように見られているかということであり、異なった視点から自らを見つめ直すことでもある。<br>グローバル化と価値の多様化が進行する中で、英語に慣れるとともに、複眼的なものごとを捉えるようになることを目的とする。 | 目標は多岐にわたるが、大枠は以下のようなこと。<br>1. とにかく英語記事に慣れ、その文章の特徴を知る。<br>2. 正確ではなくてもいいので、とにかく文章の大意を取ることができるようになる。<br>3. 記事となっている出来事の社会的背景を知る。<br>4. 外国メディアの取り上げ方、日本人の感覚との差異について理解する。<br>5. 自分から外国の記事を読みきっかけとする。 |
| 17GBSS0028 | 外国から見た日本社会のしくみ | 全て | This class will examine and interpret modern Japanese society and culture as seen in the popular drama "The Emperor's Chef."  | This class will prepare students to better understand and discuss Japanese society and culture with persons living within Japan and foreigners living outside of Japan.                         |
| 17GBSS0029 | 日本経済のしくみ       | 全て | This class will help students understand the evolution of the Japanese economy and its place in the world through the popular drama "Shitamachi Rocket".  | This class will prepare students to better understand and explain the Japanese economy to persons within Japan and to foreigners living outside of Japan.                                       |
| 17GBSS0030 | 英語で学ぶやさしい経済学   | 全て | 私たちの日常生活は経済と密接に関連しており、またグローバル化に伴い世界の経済の動向を知ることは、ビジネスパーソンとしてとても重要なことである。平易な英語で経済学の基礎事項を楽しく学び、将来のキャリアに活かせる経済の知識とビジネス英語のスキルを身につけることを目指す。   | 英語での経済ニュースの意味内容をたやすく理解する。<br>経済、および社会に対してクリティカルな思考で物事を分析するスキルを身につける。  |
| 17GBSS0031 | 英語で学ぶお金の知識     | 全て | 大学生活や将来のライフイベント、(就職、結婚、育児、老後)などに備えて、必要なお金の知識を日本語と英語で学び、自分の生き方にあったお金の活用方法を身につけ、合理的なライフプランを設計できる、ファイナンシャル・リテラシーの習得を目指す。   | *ファイナンスに関する、英語の語彙・表現を学ぶ。<br>*お金の知識を反映したライフプランを設計する。<br>*海外でのパーソナル・ファイナンス事情を学ぶ。<br>*グループアクティビティを通じて、英語で自分の意見や考えを発表できる力を身につける。  |
| 17GBSS0032 | 情報と社会          | 全て | 現代社会では様々な場面で情報技術が利用され、人々の生活や社会に大きな影響を及ぼしている。こうした情報社会では、パソコン、携帯電話、インターネットなどの普及に伴い、様々な情報のデジタル化が進みつつある。本科目では、その動向を知り、情報の必然性を理解する。また、個人として情報社会を生きてゆく上での基礎知識を習得し、日々の生活に活かせるようになることが目的となる。                    | ・現代社会で情報がどのような意味合いを持つのかについて説明できること。<br>・現代社会で情報がどのように活用されているかを理解すること。<br>・現代社会が情報社会と呼ばれる理由を説明できること。<br>・情報社会での社会生活や人間関係がどのように変化してきたかを説明できること。<br>・情報社会特有の様々なリスクを理解し、対処方法を実践できること。               |

#### 基礎教養科目群 自然科学科目

| 科目番号       | 科目名           | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|---------------|----|--|---|
| 17GBSN0001 | エコロジーと私たちの暮らし | 全て | 21世紀最大の課題は地球環境問題、特に地球温暖化問題の解決である。地球温暖化問題の実態を知り、その解決法を探る。   | 地球環境問題の実態と解決方法をプレゼンできるレベルを目指す。  |
| 17GBSN0002 | 天文学入門         | 全て | 本科目では、星空案内人資格認定制度に準拠した内容の講義を行なうことで、星や宇宙に関する基礎的な知識の習得を目指すことを目的とする。  | 太陽系から恒星、星雲・星団、宇宙に至るまでの、現代天文学が明らかにしてきた宇宙像に関する基礎的な知識を身につけることを通じて、私たちが存在している宇宙について理解する。<br>講義を通じて得た知識を天体観望会をはじめとする科学ボランティア活動を通じて、幅広い年齢の方にわかりやすく伝えるための表現力、プレゼンテーション力を身につける。 |
| 17GBSN0003 | 数的能力の発達過程     | 全て | 数学は人間の生活を豊かなものにし、遠い未来を見据えた大きな課題から身近な課題まで多くの問題の解決に寄与してきた。しかしながら算数・数学でつまづいて苦手になった人は多い。数や数学の発生過程から現代社会における数学的考察の大切さを考えることで、算数・数学の面白さ、有用性を実感することを学び、その過程を通して、主体性に課題を解決するための数学的アプローチを身に付け、論理的に物事を考察する能力を育成する。 | ・数の発達についての歴史を理解する。<br>・日常生活の中における数的能力の重要性を理解する。<br>・数学的思考による問題解決を図ろうとする態度を持つ。<br>・数的能力を向上させる段階を理解する。  |

| 科目番号       | 科目名            | 学年 | 科目目的  | 到達目標  |
|------------|----------------|----|---|---|
| 17GBSN0004 | 数や図形の科学        | 全て | 中学や高校で数量や図形などに関する基礎的な概念や法則などについて学んだが、日常生活や自然界にある数や図形の美しさ、不思議さを実感している人はどれ位いるだろうか。そのことについて理解を深める中で、探究的な態度や論理的思考力、表現力を修得する。  | (1) 日常生活や自然界にある数や図形の美しさ、不思議さに気づく。<br>(2) 社会生活に数学が活用されていることを知り、自然科学に対する興味関心を高める。<br>(3) 双方向の授業やグループワークを通じて、考える力や表現力を養う。  |
| 17GBSN0005 | 文化としての数学       | 全て | 人類の歴史は数学に支えられてきたといっても過言ではない。受験数学とは違う数学の世界を知的探究する。   | 文化に潜む算数・数学の探究的活動を通して、社会人としての基礎的教養を培う。<br>・数学の発達について理解する。<br>・日常生活の中における数的能力の重要性を理解する。<br>・数学を活用して簡単な身のまわりの問題について解決することができる。                                   |
| 17GBSN0006 | 日本が世界に誇る数学「和算」 | 全て | 江戸時代日本で独自に発達してきた和算を考察の対象として、日本文化の一端を堪能するとともに、数学的な資質・能力の伸長を図る。   | 数学の探究的活動を通して、社会人としての基礎的教養を培う。<br>・和算の文化的価値・数学的価値について理解する。<br>・わが国の数学史について理解する。<br>・和算の基本的問題について解決することができる。  |
| 17GBSN0007 | 生態学的視覚論        | 全て | 人間が、生活環境に適応したすぐれた視覚認知能力を持っていることを学ぶ。我々は、ヒトとして進化する中で、自然環境や自分たちの作った人工の環境に適した能力を獲得してきた。「ものを見て理解する」視覚認知能力も、我々の生活する環境のあり方と無縁でない事を、身近で具体的な例を見ながら考える。                             | 日常何気なく接している私たちを取り囲む環境のあり方が、私たちの持つ優れた視覚認知能力を育ててきていることに気付いてもらい、人間や動物が周囲の環境と密接な関わりの中で生きていることを、実感してもらうことを目標とする。   |
| 17GBSN0008 | 視覚認知           | 全て | だまし絵やオプティカルアート等の不思議で興味深いパターンを題材にして、視覚と我々を取り巻く環境との相互作用の中で発達したヒトの“ものを見て解釈する能力”について考える。具体的にパターンを見ながら、ヒトの視覚認知の持つ特徴とそのメカニズムについての理解を深めることを目標とする。                                | ものを見て理解するという、当たり前の我々の視覚認知が、意外と危うい側面を持っていることに気付いてもらうと共に、危うさの裏返しとして、すばらしい世界を伝える事ができることを実感してもらう。   |
| 17GBSN0009 | 生命科学入門         | 全て | 「生物」「いきもの」に関わるテーマについて、自分の身の回りの事柄を科学的に考察し、知っている事実からその現象を連想し理解することで、「生物学」「生命科学」に対する探求心を養うことを目的とする。  | 1) 生命科学を体系的に把握するために、大きな視点と小さな視点の両方から「生命」について理解できる。最新の細胞・分子生物学では非常に小さな事象を扱うため、できるだけ大きな視点から始めて、自分自身のこととして捉えられるように学習する。<br>2) 身の回りに起こっている生命に関わる様々な事象を、科学的に理解できる。 |
| 17GBSN0010 | 身近な動植物の起源と歴史   | 全て | 私たちの衣食住のいずれでも、動植物に由来するものが多い。それらの多くは、人類が自らの生活に役立つように、品種改良したものだ。これまでの人類の英知の結晶であると言っても過言ではない。一方で、それらの動植物の利用法は生活様式の異なる国ごとに大きく異なる。その起源をたどりその歴史を知ることは、将来の日常生活をより豊かに楽しいものにするだろう。 | 衣食住の生活にかかわる動植物を通して、まず人類の歴史を実感する。さらに、世界の交流の歴史や世界における日本の独自性を認識する。日本人の常識は世界の常識ではない。国際人としての教養と感性を身につけるのが授業の目標である。   |
| 17GBSN0011 | 生態系サービスと生物多様性  | 全て | 私たちが住んでいる地球には実に多様で魅力的な生物が存在すること、私たちの生活はこれらの生物に支えられて成り立っていることへの理解を深める。   | 1. 生物多様性と生態系サービスに関する基礎的な知識を養う。<br>2. 日常生活を支える身近な生物に目を向けられるようになる。<br>3. 生物多様性を守ることの大切さを理解する。   |
| 17GBSN0012 | 西宮の自然に親しむ      | 全て | 西宮は阪神間にありながら、六甲山系や武庫川などの豊かな自然に恵まれ、多様な動植物を観察することが可能である。そのような自然の特色を概観することにより、西宮の自然により興味をもつことを目的とする。   | 西宮の自然を理解し、身近な自然に興味を持ち、観察する手法を身につけることができる。   |
| 17GBSN0013 | 環境問題の歴史        | 全て | 21世紀の最大の課題は環境問題の解決である。21世紀に生きる皆さんに必要なものは、環境破壊や環境問題に関する知識と環境影響に対する秀でた感受性である。本講義では、古代ギリシャから現在までの環境問題の歴史を学びその教訓をいかに生かしていけばよいかを考える。   | 過去の環境問題がいかに生じてきたか、またどのように解決されてきたかをプレゼンできるレベルを目指す。   |
| 17GBSN0014 | 科学技術の歩み        | 全て | 明治期の主要産業は絹製品、綿製品であり、さらに大正・昭和期にはレーヨン・スフという再生繊維に進歩し、太平洋戦争後には合成繊維が登場する。本講義では繊維を切口に明治期以降の科学技術の進歩の歴史と経済の歴史を俯瞰する。   | 日本の繊維産業の興亡を通して、日本の科学技術の進歩の歴史をプレゼンできる力を涵養する。   |

| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的  | 到達目標  |
|------------|-----------------|----|---|---|
| 17GBSN0015 | 生命科学の基礎         | 全て | 21世紀は生命科学の時代といわれている。本講義は皆さんが興味を持っている血液型と性格の関係・恋愛と血液型の関係、さらに借り卵子や代理母などの生命倫理、またDNAの本質を社会的な視点を保ちつつ理解することをめざす。  | DNAの働き、借り卵子、代理母などの実態をプレゼンできるレベルを目指す。  |
| 17GBSN0016 | 生活の中の物理学        | 全て | 身の回りに見られる題材から、日常生活の素養となる物理学を習得する。論理的／数理科学的な考え方で自然を眺めたり、応用する力を養う。物理に限らず、科学的なりテラシー能力を得られるような広い話題から講義を進める。   | ものごとのしくみ・背景にある自然法則の理解を通じて、普段の生活をより一層味わい深いものにする。また、数量的な見積りや論理的思考を日常的に行う習慣を身につけ、擬似科学に騙されないような感覚を取得する。   |
| 17GBSN0017 | 最先端物理学が描く宇宙     | 全て | 物理学の歴史的な進展も交え、我々が現在までに得ている「宇宙」の観測的描像と理論的描像を紹介する。論争によって発展をつづけた科学的世界観や、宇宙物理学の諸問題を理解する。現代物理学の2つの柱である相対性理論・量子論を紹介し、宇宙が膨張していること・ブラックホールが存在していることはどうやってわかったのか、素粒子の確率解釈が必要となった理由は何かなど、物理学の根源的な問題を（数式ではなく）論理的な展開を軸に解説する。自然界を解明していくサイエンスに触れ、教養を得るだけではなく、広くて柔軟な思考を身につけて欲しい。                                     | 宇宙物理学をキーワードに、物理に対する考え方や取り組みを理解する。現代物理学が描き出す、非日常的な不思議で壮大な結論を理解する。教科書にないような最先端の事例を調べ、科学的・論理的な説明ができる能力を養う。   |
| 17GBSN0018 | 微生物がつくる発酵食品の不思議 | 全て | 私たちの生活の中で当たり前になっている食品が、どのようにして作られているのかについては、あまり知られていない。そこで、“食品がどのように作られているのか？”、“発酵食品とは何か？”、“微生物がどのように食品に関与しているのか？”など不思議な謎を解く講義を通して、食品をより理解することを科目目的とする。   | 様々な微生物の性質や発酵食品などの加工食品がどのように作られているのかを微生物学的に、科学的に、食品学的に、食品加工学的に理解し、食品へのイメージを高め、これからの食生活をより豊かにすることを到達目標とする。  |
| 17GBSN0019 | 色彩情報            | 全て | 色彩は、企業活動での商品開発、販売促進やCIなどの局面で、また、公共空間のデザインや街づくり、都市計画の分野においても重要な役割を担っており、重要視されてきている。そこで本科目では、「色」を正確に表し伝達するために色の情報を処理する基礎を身につけることを目標とする。   | 1. 色はなぜ見えるのか説明できる。<br>2. 色に関する基本的な項目について説明できる。<br>3. 生活を営む上で色彩を有効に用いることができる。<br>4. 色彩検定の資格取得に向けた目標を持つことができるようになる。                                 |
| 17GBSN0020 | 色のふしぎ           | 全て | この科目は、日常生活におけるさまざまな色のふしぎについて、実験（体験）を通して解説することにより、色の世界がいかに面白く魅力的であるかを伝え、色への探究心を刺激することを目的とする。   | 専門知識・技術到達目標<br>1. 光と色との関係について説明できる。<br>2. 日常生活における色彩現象について説明できる。<br>社会人基礎力到達目標<br>3. 疑問を解決するために、積極的に調査できる。<br>4. ディスカッションなどの共同作業の場で、意思表示・情報共有できる。 |
| 17GBSN0021 | 科学から考える衣服と生活    | 全て | 衣服といえば一般的にはファッションが想起され、デザインや流行といった文化的側面に目が行きがちであるが、物としての基本的価値、例えば身体を寒暑等から守ることで人類が地球全体に活動範囲を広げられたことなどを忘れてはいけない。衣服の科学的知識やその根底の考え方は衣生活において極めて重要で、大学等でも古くから系統的に研究され、教えられてきた。本講義では、衣服に関する科学的領域について、人体生理から素材、環境問題まで広くその科学的知識や考え方を教授するとともに、より良い衣生活について受講生と共に模索したい。科学と生活のかかわりに気付くことで、科学を普段の生活に役立てられるようになるだろう。 | まずは、受講生がより健康的で快適な衣生活を実践できるようになってほしい。また、家庭生活やアパレル系職業、幼・保から高校までの教職等、各自の活躍する場において周囲に正しい知識や情報を適切に伝えられ、グローバルな視点で社会全体がより良い衣生活に向かうことを期待したい。              |
| 17GBSN0022 | 健康を支える仕組み       | 全て | ヒトの生命の誕生から成長、加齢を通して「健康のための生命科学」を展望します。「いのち」はいつ始まり、いつ終わるのだろうか。また人間の尊厳とは何なのだろうか。現在、生命科学は驚くべき進歩をとげたが、あらためてこのような難問に直面している。先端医療の急速な発達に伴って、われわれは従来のやり方では十分に扱えない倫理的問題に直面している。本講義では、生物の持つ共通の原理・仕組み（生物の構造・機能・遺伝子、情報処理）を理解し、生物の有する機能を人類の健康や福祉に役立てることができるという事を理解する。  | 健康に関する情報を発信するが、講義を聴いただけでは健康にはならない。ヒトの生命システムをよく理解し、学んだことを実践し、健康に努めることが目標である。   |
| 17GBSN0023 | 遺伝子の不思議         | 全て | ほとんどの人はDNAや遺伝子という言葉聞いただけで「何となく難しそう」というアレルギー反応を起こす。一方で新聞紙面の科学欄に載っている記事を見て、まるで全ての病気が解明され治療法が開発されたかのような美しい誤解をする。この講義によってアレルギー反応を断ち切り、生物の世界がいかに面白く感動的な物であるかを知ってもらいたい。   | 遺伝子の実体を理解する。私達の体は遺伝子という設計図をもとに形作られ、遺伝子の異常によって病気や老化といった現象が表れることを理解する。  |



基礎教養科目群 国際理解科目

| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|-----------------|----|---|--|
| 17GBSI0001 | 大阪の地域文化と東アジア    | 全て | 上方とよばれ、関西とよばれる京大阪を中心とした地域の文化は、300年ほどしかない東京とは明らかな文化的な位相が今も根強く生きている。「はんなり」という言葉は「華やかなり」が語源であるともいう。文化の伝統と新気風の両様を尊ぶ関西文化の諸相を様々な人々の生き様から探っていききたい。   | 興味ある時代と人物をとりあげ、現代との関連にポイントをすえて、今の我々の歩みをも考えていきたい。   |
| 17GBSI0002 | 韓 流 プ ー ム       | 全て | 韓国と日本というアジアの隣国相互理解について考えたい。義理や儀礼を守り、人情に篤い国民性の似た韓国と日本は、驚くほどに似たところと、意外なほどに意識の異なることがある。友好と親善の基本は正しい理解に他ならない。映画やテレビドラマもより身近に正しい隣国の理解の手立てとなろうし、日本人と一番親しいのは韓国との思いになろう。  | 本講義を通じて、韓国文化を正しく理解してより深い理解をきわめていくことは表面的「韓流ブーム」を越えて、自らをとらえなおして日本のより深い理解にもつながるものであろう。  |
| 17GBSI0003 | 韓 国 文 化 の 理 解   | 全て | 最近、「韓流」ということばが日本社会において大衆文化のキーワードになっている。本講座では韓国の文化と社会について基礎的な知識をはじめ、多様な韓国文化に対する理解を含めることを目標とする。   | 隣りの国韓国を身近く感じ、その文化を理解する。  |
| 17GBSI0004 | 中国文化へのいざない      | 全て | 中国は古代においては世界四大文明発祥の地の一つであり、その文化は隣国日本に少なからず影響を与えてきました。中国は今後も日本にとって最も密接な関係をもつ国であり続けるに違いありません。本講義では中国理解のための一助として、その多様な文化を伝えます。   | 中国という大地に暮らしている人々は、長い歴史を受け継いで、絢爛（けんらん）たる文化を生み出してきた。これからも新しい文化を絶えることなく創り続けていくだろう。この講義で得た基礎的な知識が、激変の中国を理解するために、多少なりとも役に立てれば、ありがたいと思う。   |
| 17GBSI0005 | 文学を通して見る英国事情    | 全て | 旅をして自国とは異なった文化や生活習慣に触れることは新鮮な驚きにつながり、また、その国の歴史や文化的背景を知ることで、より広い視野から物事を捉えられるようになる。ここでは英国に焦点を当て、時系列的に文学作品を眺めながら、その中で英国の歴史と文化への関心と理解を深めてゆくことを目的とする。  | 英国の歴史は世界史のほんの一端に過ぎず、その文化も世界の多種多様な文化の一つにすぎないが、それらを知ることで、おのずと自国の文化にも目を向けるようになる。そのうえで、さまざまな異文化が現在の世界を形成しているという事を再認識し、国際理解に向けての視野を広めるようにする。  |
| 17GBSI0006 | 英米文学の少女少女と英語圏文化 | 全て | イギリス、アメリカ、カナダなど英語圏の文学に登場する少年少女に焦点を当て、各々の文化の中で彼らがどのように成長するのを見ることが、また、英語圏の国に英国の影響がいかに色濃く残っていたかを知ることが目的とする。  | 物語の主人公の生活を通して、彼らの育った土地にはそれぞれに特有の文化があることを再認識し、ひいては世界の多種多様な文化にも興味をもって目を向けるようにする。   |
| 17GBSI0007 | 多文化・異文化の世界      | 全て | 異文化理解を「文化」に焦点を合わせて考察し、現代社会において、異文化を理解するとはどういうことか、また可能なかを具体的に捉え直せるようになる。そして、現在自分たちがどのような社会状況で生活しているのか、客観的にみる視点を養う。   | 多文化・異文化に関する知識の理解が深まる。<br>具体的な問題解決能力が高まる。<br>獲得した知識・態度によって、批判的に考察を深め、自らのコンテキストで問題に対応することができるようになる。  |
| 17GBSI0008 | 日本の中の多文化社会と子ども  | 全て | グローバル化の進展とともに外国人の定住化が進む中、その子どもたちの多くは日本の地域社会で育ち、日本の学校で教育を受けている。家庭内では親の国で使われている言葉を話し、学校では日本語で学んでいる。国際結婚家庭に生まれた子ども、親の呼び寄せで日本に来た子ども、外国で育った子どもなど、文化や言語面で日本以外に背景をもった子どもが多くなってきている。<br>このように、外国に背景をもつ子どもを「外国につながる子ども」と呼ぶ。<br>一方、日本には古くからインターナショナル・スクールをはじめ、中華学校やブラジル人学校、コリア系学校など多くの外国人学校が存在している。しかし、このように日本の国で外国の文化や言語を学ぶ学校があることや、またそこでどのような子どもが学んでいるかについては、あまり知られていないのが現状である。<br>外国人学校や日本の公立学校で学ぶ「外国につながる子どもたち」は、家庭や、地域や、学校で、どのような生活を送っているのだろうか？本講義ではさまざまな事例をもとに、1日本で生活する「外国につながる子ども」たちの現状や課題について学ぶとともに、2日本の学校や外国人学校の学校文化に焦点をあてて多角的な視点から理解することを目指す。 | この授業を通して、次の3点について理解したり、言語化したりすることができる。<br>・現在の日本社会を生きる「外国につながる子ども」の教育についての現状や課題について理解を深めることが出来る。<br>・これまで日本のなかで外国人学校が存在してきた理由や歴史的意義について知り、その学校文化について社会学の視点から分析ができるようになる。<br>・外国人や「外国につながる子ども」の教育について社会的側面から分析し、日本の公立学校で学ぶ「外国につながる子ども」の今後についての自ら考えることができるようになる。 |
| 17GBSI0009 | World English I | 全て | This course will allow students to explore the history and use of the English language in a global context.   | Students will gain a broader understanding of the different varieties of the English language spoken throughout the world and be able to communicate better with speakers of various different English dialects.   |



| 科目番号       | 科目名              | 学年 | 科目目的  | 到達目標  |
|------------|------------------|----|---|---|
| 17GBSI0010 | World English II | 全て | This course will allow students to further explore the history and use of the English language in a global context. | Students will gain a broader understanding of how the different varieties of English have spread throughout the world. Students will be able to analyze the ways in which English is used throughout the world, speculate about the global future of English, and take part in the international dialogue concerning the use of the English language. |
| 17GBSI0011 | 漢字がつなぐ東アジア       | 全て | この科目は、漢字・漢字語を中心に東アジアの言語、特に日本語・中国語・韓国語を対象に、それらの間の異同と交渉の跡を知ることにより、東アジアという視野の中で日本語を眺め、理解する視点を養うことを、主な目的としている。          | 東アジアの漢字・漢字語に関する基本的な知識を獲得し、日本語を東アジアという視野の中で客観的に眺めることができる。中国語、韓国語等を学習する意欲を得る。   |
| 17GBSI0012 | 世界の中の日本人         | 全て | この科目は、普段あまり意識することのない文化が自己形成や心のしくみにどのような影響を与えているのか、また文化の中で生きる人間の生き方が、どのように文化や社会を維持・変革しているのかを分析・考察することを主な目的とする。       | ひとの感じ方や考え方、行動は個人によって差があるのは当然であるが、文化によっても異なっている。文化とひとの心や行動との相互作用に関する理論や研究についての知識を得ることにより、文化と人間について分析・考察するとともに、文化の中で生きている自分自身を見つめ直す。  |

#### 基礎教養科目群 現代トピック科目

| 科目番号       | 科目名                           | 学年 | 科目目的  | 到達目標  |
|------------|-------------------------------|----|---|---|
| 17GBST0001 | Japanese Culture Influence I  | 全て | This course will help students understand the impact that Japanese art and popular culture have had on other countries.   | Upon completion of this course, students will have a better understanding of the ways in which Japanese cultural exports have influenced the global community, and be better equipped to engage in meaningful discussions about their own culture's place in the world. |
| 17GBST0002 | Japanese Culture Influence II | 全て | This course will help students expand their understanding of the impact that Japanese art and popular culture have had on other countries.  | Upon completion of this course, students will have a better understanding of the ways in which Japanese cultural exports have influenced the global community, and be better equipped to engage in meaningful discussions about their own culture's place in the world. |
| 17GBST0003 | 本を編む取材 I                      | 全て | <p>「本を編む」とは、本を作ることである。本をつくるプロセスは非常に創造的な活動であるとともに、その活動を支える多様なスキルが求められる。この授業では、テーマに関する取材での主体的に活動する力、インタビューや交渉等における丁寧なコミュニケーション力、グループ活動に不可欠な協働力、原稿執筆の際には表現力、さまざまな事柄に対応する力など、自らの能力を多面的に伸ばす機会が多数用意されている。</p> <p>本学院は2年後の2019年に創立80周年を迎えるが、現在、学院として『武庫川学院80年史』（仮）の作成が検討されている。「本を編む」では、学院作成の『80年史』とは別に、学生や卒業生からみた『80年史』を学生自らの作成することを計画している。学生目線の『80年史』は、作成に関わる諸君にとっては学生時代の思い出になるとともに貴重な成果となることは間違いない。同時に、後輩への語りかけ、貴重な贈り物として語り継がれるだろう。</p> <p>本科目では、本（学生目線の80年史）を作成するために、特に学内関係者への取材（インタビュー）の実践と、原稿にまとめる能力を高めることを目的とする。</p> | <p>本を編む上で不可欠の作業（資料収集、取材）の実際について、特に学内関係者への取材を通して、80年史全体における意味、重要性、留意点を知り、苦労や楽しさなどを含めて、自らが本を編むことに関わる自覚を持つようになること。</p> <p>本を編む上で不可欠の情報収集作業（取材、インタビュー）に必要な基礎的知識・技術を理解、修得し、実践すること。</p> <p>学内関係者への取材・インタビューなどを通じて、主体的な活動力、コミュニケーション力、表現力、環境適応力といった、社会で必要なスキルを体得すること。</p>      |
| 17GBST0004 | 本を編む取材 II                     | 全て | <p>「本を編む」とは、本を作ることである。本をつくるプロセスは非常に創造的な活動であるとともに、その活動を支える多様なスキルが求められる。この授業では、テーマに関する取材での主体的に活動する力、インタビューや交渉等における丁寧なコミュニケーション力、グループ活動に不可欠な協働力、原稿執筆の際には表現力、さまざまな事柄に対応する力など、自らの能力を多面的に伸ばす機会が多数用意されている。</p>   | <p>本を編む上で不可欠の作業（資料収集、取材）の実際について、特に学内関係者への取材を通して、80年史全体における意味、重要性、留意点を知り、苦労や楽しさなどを含めて、自らが本を編むことに関わる自覚を持つようになること。</p> <p>本を編む上で不可欠の情報収集作業（取材、インタビュー）に必要な基礎的知識・技術を理解、修得し、実践すること。</p> <p>学内関係者への取材・インタビューなどを通じて、主体的な活動力、コミュニケーション力、表現力、環境適応力といった、社会で必要なスキルを体得すること。</p>      |

| 科目番号       | 科目名           | 学年   | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|---------------|------|--|---|
| 17GBST0005 | モラルジレンマから考える私 | 全て   | 日常生活には様々なモラルジレンマがあり、これらは正解がはっきりしないことも多い。社会の中で生活するためには、自分の意見を明確にするとともに、他者との議論を通じて、自分の意見を見つめ直すことも必要となる。本授業ではこのジレンマ過程を実際に経験しながら、自分と異なる意見にも耳を傾ける態度を養い、自分自身について見つめ直すことを目的としている。     | ①自分と異なる意見や考え方に対して、理解しようと努力できる<br>②自分の意見を論理的に他者に伝えることができる<br>③他者のディベートを聞いた後、それぞれの主張を要約できる<br>④他者の意見と自分の意見の違いなどをふまえて、自己分析ができる |
| 17GBST0006 | 関西モノ語り経済      | 全て   | 家電や菓子、スーパーマーケットなど、関西生まれのモノやサービスを各回のテーマにとりあげ、それらに関連する国内外の最新ニュース、背景となる時代の動きを楽しく学ぶ。就職活動の筆記・面接でも役立つ、時事問題の知識、文章力、表現力を身につける。さらにビジネスウーマンや公務員、主婦になっても役立つ経済的センスを培い、生涯にわたっての「生き抜く力」を鍛える。 | 毎日の新聞記事、ニュースを理解するための基本知識を得る。経済から政治、国際、科学、労働問題など、幅広い分野の時代の動きに対して、感度を上げる。経済学の基礎知識とともに、書く力、伝達力をつけ、就職活動や日々の暮らしの中で、使いこなせることを目指す。 |
| 17GBST0007 | 大学生活入門        | 1年のみ | 一般に大学生は、活動・行動範囲も飛躍的に広がり、以前より自由な行動を認められるが、一方では自分を律することを求められ、大人としての責任・責務も発生する。この授業では、学生生活を有意義に、また安全かつ快適に過ごし、その後生涯にわたって、社会人として健全な社会生活を送るために、必ず知っておきたい基本的な知識を修得する。<br><1年生対象>      | 大学生として、またその先の社会人への備えとして自分の健康は自らが守るという認識と自覚をもち、健全な社会生活を送るための健康、食生活習慣、危機管理等に焦点をあて、基本的な考え方と知識を習得する。                            |
| 17GBST0008 | 命を守る生体の機構と科学  | 全て   | 一人の女性としてまた人間として生きていく上において、備えておくことが望ましい教養を各分野の最先端で研究されている先生方にお話しいただきますので、現代社会において生命を維持し、さらにより快適な人生を送るために必要な知識やそれを支えるための基礎研究がどのように行われているかについて知り、教養として身につけ、自らの人生に応用することを目的とする。    | 命を守るために人類が本来備わっている生体防御機構とそれをどのように利用しているのか、現代の治療や移植医療の現場において生命科学的知識や手法をどのように駆使しているかを認識し、生命の神秘と命の大切さを認識することを目標とする。            |

#### ジェンダー科目群

| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|-----------------|----|---|--|
| 17GGEN0001 | 魔女裁判で学ぶジェンダー    | 全て | 人々が伝承してきた魔女イメージと現実に処刑された魔女被告人を比較しながら、ジェンダーの視点から魔女裁判や魔女問題について考えていく。その際、文学、歴史学、社会学、宗教学、民俗学など多くの学問分野から魔女や魔女裁判について学際的考察を試みる。            | 魔女について多方面から学際的に考察することによって、文化的社会的に造られた性差、ジェンダーについて理解することを目標とする。   |
| 17GGEN0002 | 女性のための発達心理学     | 全て | この科目の目的の一つは、女性ならではの発達の特徴と課題を中心にしながら、人の生涯にわたる発達を理解していくことである。目的の二つ目は、それらの理解をもとに、自分らしい発達を遂げていくことについて考え、自分なりの人生を作り出していくことである。           | <ul style="list-style-type: none"> <li>各発達時期の特徴と課題とを述べることができる。</li> <li>性差について、論理的に思考し、不要な性差観を排除することができる。</li> <li>自分なりの生き方について考え、意思を表明することができる。</li> <li>どの発達時期においても成長を続けることのできる女性を目指す態度をもつ。</li> </ul> |
| 17GGEN0003 | 女性と家族のゆくえ       | 全て | 現在「女性」を取り巻く状況とそこから生じる問題を、「家族」との関連で考えていく。まず、当たり前存在しているかにみえる「家族」を、他文化との比較や歴史の中に置くことによって相対化し、とらえ直す作業を行なう。そして、今後の「女性と家族」の新しい可能性を見出していく。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>家族の問題を単体で見のではなく、相対的に理解する力</li> <li>情報を鵜呑みにするのではなく、社会的状況の文脈において理解する力</li> <li>家族の問題を今という状況だけでなく、歴史的な文脈において理解する力</li> <li>科学的知を女性の生きていく力に活かす力</li> </ul>            |
| 17GGEN0004 | 女性と教育           | 全て | 教育における自らの経験や現状をジェンダーの視点から分析・考察することによって、ジェンダーにとらわれないしつけや教育の可能性について考える力を養う。さらには、将来起こり得る様々な出来事（就職、進学、結婚、出産、育児等）について主体的に考え、行動できる力を養う。   | 日々の生活の中でジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。さらに、これまでの「とらわれ」から自由になる。   |
| 17GGEN0005 | ジェンダーとアイデンティティー | 全て | 「女」を取り巻く環境は時代とともに刻々と変化している。同時に「女」の生き方およびそれに伴って発生する問題も変化している。そうした様々な変化を認識する中で、これまでとらわれてきた自らの女性観や性別役割分業観を問い、自分らしい生き方について主体的に考える力を養う。  | 日々の生活の中でジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。さらに、これまでの「とらわれ」から自由になる。   |

| 科目番号       | 科目名            | 学年 | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|----------------|----|---|--|
| 17GGEN0006 | 女性の身体とセクシュアリティ | 全て | この科目は、ジェンダーの理論やセクシュアリティに関する事柄を理解し、自分の身体や性について考える機会をもつことを主な目的としている。  | ジェンダーの理論や社会問題、セクシュアリティに関する知識を身につけることで、自分自身の心の中にある固定観念や偏見に気付く。また、女性に多い病気や障害についての正しい知識をもつことで、それらを予防・対処できる力を身につける。  |
| 17GGEN0007 | メディアに見るジェンダー   | 全て | この科目は、メディアの中にある具体的な事例を通して、ジェンダーの理論や問題を分析することにより、自分自身の中のジェンダー意識を再考することを主な目的とする。  | ジェンダーの問題は、漫画や小説やエッセイ、映像などのメディアに顕著に表れていることが多い。メディアの中にあるジェンダーを分析することにより、また、メディアから受けている多大な影響に気付くことにより、「当然」と思っている価値観やイメージについて分析・考察する。さらに、ディスカッションなどを通して、多様な意見や価値観に触れることで、自身の考えを深めることも目的の1つとする。 |
| 17GGEN0008 | アジアのなかのジェンダー   | 全て | 中国、インド、ベトナムなどアジア諸国の躍進がめざましい。同時に、これらの国々について理解することの重要性が増している。本授業では、これらの国々に関する基礎知識を得た後、教育、労働、結婚の現状および問題についてジェンダーの視点から考察する。 | アジア諸国をはじめとする世界の国々の社会情勢に関心を持つようになる。特に様々な国々のジェンダーに関する諸事情に関心を持ち、それらの共通点や相違点を知る。さらに、それらの知識をもとに、日本のジェンダーに関する諸事情について考察したり、将来のジェンダー動向を予測できたりするようになる。  |

### キャリアデザイン科目群

| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|-----------------|----|--|---|
| 17GCRD0001 | 自分を変える話し方       | 全て | 気のおけない友人の集まりでは楽しく話しができるのに、少しあらたまった場になると途端に言葉が出ず無口になる。そんな状況を打破し、「初めての人でも、苦手な相手とでもとりあえず30分は会話を続けられる。」を目標に授業を行う。一方的に「話す」のではなく、相手の話を「聞く」態度を育み円滑なコミュニケーションを図るために必要なノウハウを様々な訓練法を用い実践しながら身につける。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝わる発声を身につける</li> <li>・快適に会話を継続する方法を身につける</li> <li>・「聞く力」を身につける</li> </ul>   |
| 17GCRD0002 | ヒューマンスキル入門      | 全て | ヒューマンスキル（対人能力）を高めていくには、まずは自分自身を知ることが大切である。さまざまな視点から自分を見つめ、自分との出会いを通していろいろな発見をし、さらに魅力的な自分を創造していくことを目指す。   | 他者との相互作用を通して自己理解を深めていく中で、コミュニケーション・スキルが確実に高められる。それによって、他者との関わりに自信をもてるようになる。また、決まりきった答えのない事柄に取り組んでいくので、考える力、意識性も向上する。以上が基軸となるが、そのほかにも感情をコントロールする力、目標設定力、マナー等を身につけていくことができる。                                    |
| 17GCRD0003 | パーソナルコミュニケーション  | 全て | 学生のカルチャーから社会人のカルチャーへソフト・ランディングしていくために必要なことの1つが、コミュニケーション能力である。私たちの日々の活動は、さまざまな人との関わりの中で行われる。コミュニケーションのあり方が、人間関係を左右する。豊かな対人関係を築いていくためのコミュニケーションのポイントを身につけることを目指す。                         | 対面でのコミュニケーション力の向上を目指していくが、人間関係やコミュニケーションの問題に正解や決まりきった答えはない。そのため、考える力も高めていくことができる。また、今後社会に出た時に求められていく自立・自律についての力も向上する。さらに、アクティブ・ラーニングによって、主体的に行動する力、リーダーシップ、課題形成力の修得が期待できる。                                    |
| 17GCRD0004 | 女性のためのライフプランニング | 全て | 現在、女性をとりまく環境は大きく変化している。このような時代に、自らのキャリアについてどう戦略的に考え行動するか、女性としてどう生きるかを重要なポイントととらえ、有意義なライフプランを考える。   | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 女性をとりまく背景、社会状況の知識の理解</li> <li>(2) 自らのキャリアプランとライフプランの形成</li> <li>(3) 理想のライフプラン実現のための課題を見つけ、その課題を解決する能力形成</li> <li>(4) 自己表現ができるコミュニケーションスキルを身につける</li> </ol>         |
| 17GCRD0005 | キャリアプランニングの基礎   | 全て | <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア形成に必要な不可欠である ①自己理解 ②社会理解 ③目標の設定 ④行動計画の作成など、一連の「キャリア・プランニング・プロセス」を身に付けること。</li> <li>・「自分で考え、選択し、自分に責任を持つ」というキャリアの基本姿勢を身に付けていくこと。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解・社会理解を深める。</li> <li>・キャリア・プランニング・プロセスを学んだ上で、自身の「キャリアプラン」が作成できる。</li> <li>・グループでの話し合いや発表などを通して、コミュニケーション力をつける。</li> <li>・自分で考え、自分で選択し、自分に責任を持つ姿勢を身に付ける。</li> </ul> |
| 17GCRD0006 | 自己アピールトレーニング    | 全て | 就職試験の面接で必要な知識や技能を身に付け、自分自身を最大にプレゼンテーションすることを目標とする。   | 人前で自分の考えを自信を持って言えるようになる。清潔感のある身だしなみを身に着ける。社会人として必要なマナーを身に着ける。   |

| 科目番号       | 科目名             | 学年               | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|-----------------|------------------|---|--|
| 17GCRD0007 | 実践コミュニケーション     | 全て               | より良い人間関係を構築するためのコミュニケーションについて学び、実践することを通して、コミュニケーション力をつける。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の気持ちや考えを適切に表現できる。</li> <li>●自分も相手も尊重する自己表現について考え、実践できる。</li> <li>●ありのままの自分を受け入れることができる（自己肯定感を持つことができる）。</li> </ul>   |
| 17GCRD0008 | 論理的思考法 I        | 原則<br>1・2年<br>対象 | 「論じる」スタイルの文章作成技法を学習する。作文とレポートは何か異なるのか、「論理的な文章」とはどのようなものかなど、基本的な知識からわかりやすく解説する。簡潔に説得力のある文章を作成する方法を習うと同時に、段階的に小テストや小論文を通して実践的に文章を書く機会を設けている。  | 漫然と何となく「書く」のではなく、読み手に与える印象や説得力の高さなどをよく考え、簡潔かつ読みやすい文章作成に意識を持つところからはじめる。最終的には一般常識や時事的な話題をテーマとする小論文のスタイルで、論理的に整った文章を作成することを目標とする。トピックや論点を整理し、筋道を立てて組み立てる文章の型を身に付けることを目指す。   |
| 17GCRD0009 | 論理的思考法 II       | 全て               | 社会人への第一歩として、他者とわかり合える『論理的な視点』で考え、その結果を『プレゼンテーション』する技能を身につける。これらは就職試験のエントリーシート、小論文、プレゼンテーションなどの準備にも役立つ。  | 前半4回では、印象のよい、魅力的なプレゼンテーション表現力を修得する。中盤7回では、他者に自身の意見を論理的に説明するための表現力とともに、議論や討論に必要な批判力を身に付ける。後半4回では、効果的なプレゼンテーション企画書の作成技法を修得する。論理的思考法 I の上位講座として位置づけ、短期間で、論理的な思考力と表現力を飛躍的に身に付ける。   |
| 17GCRD0010 | キャリアデザインとライフプラン | 全て               | キャリアデザインはその言葉の意味からして仕事面が強調されがちである。人生においては確かに重要な要素に違いないが、あくまでもライフデザイン（人生設計）のなかの1つの側面としてとらえたほうが理解しやすい。それ故、向こう50年間の人生について学校・仕事・自己啓発・人間関係・資産・趣味・家族などさまざまな視点から具体的なイメージを膨らませ、そのなかでのキャリアデザインに向けてどのような努力をしていくべきかを明らかにすることを目的とする。                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分」を知ること <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の過去を振り返る</li> <li>・パーソナリティを知る</li> <li>・第一印象を知る</li> <li>・自分の価値観を知る</li> <li>・いきが、やりがいについて考える</li> </ul> </li> <li>○知識・情報をもつこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアデザインとライフプラン</li> <li>・キャリア理論</li> <li>・社会人とは</li> <li>・企業化社会</li> </ul> </li> <li>○社会人として必要とされる能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキル（技術）を理解すること</li> <li>・自分の頭で考え、行動する</li> <li>・社会人基礎力</li> <li>・論理的思考力</li> <li>・リーダーシップとコミュニケーション</li> <li>・コンセプトアルスキル</li> <li>・タイムマネジメント</li> <li>・動機付け</li> <li>・自己革新</li> </ul> </li> </ul> |
| 17GCRD0011 | キャリアと学び         | 全て               | いま、社会や企業が求める力は、主体性やコミュニケーション力やリーダーシップその他じつに多様であるが、そうした諸能力を育み、そのコアとなるのが思考力や継続的学習能力、すなわち「自ら学ぶ力」である。大学を出れば勉強は必要ない、と思っている人は、充実した豊かな人生とキャリア発達を実現することはできない。これからの時代、生涯にわたるキャリア形成に求められるのは、向上心と主体的な学習力である。本科目は、仕事と学びに関する考察を深めながら、自ら学ぶ力の涵養とともに、自立と社会的関心の獲得をめざす。 | 自分で考える力と行動力の獲得。そして質問力の向上。キャリアや人生にとって不可欠となる学びの意味の理解。卒業後いっそう必要となる継続的学習力や学習習慣、およびその必要性への認識の獲得。具体的にいえば、本と新聞を読むこと。専門と教養の関係、および教養の必要性への理解。社会的関心。自分の居場所への納得と自己効力感。武庫女の理念への共感。   |



| 科目番号       | 科目名            | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|----------------|----|--|--|
| 17GCRD0012 | 仕事力を考える        | 全て | <p>社会人として仕事をする能力には、コミュニケーション力、主体性、行動力、考える力、チャレンジ精神、仕事への熱意、リーダーシップ等々が挙がるように、企業や社会が求める力は多岐にわたる。それらの能力とその意味を考えるとともに、なぜ社会や企業等はそういう能力を必要とするのか、さらにそうした能力を育むには何をすればよいかについて考察する。それによって、企業や役所等が、筆記試験だけでなく、エントリーシート（ES）や面接を重視する理由もおのずと明らかとなる。</p> <p>本科目では、そうした社会人として仕事をする際に求められる能力の必要性への気づきを得るとともに、それらの仕事力の獲得に向けて行動を起こすことをめざす。</p>  | <p>主体性またはリーダーシップの涵養。一人行動、例えば、授業に一人で前方出席。自立した個人同士の協働。例えば、グループディスカッション（GD）への積極的な参加。公共圏におけるコミュニケーション力。他者の意見への傾聴。コミュニケーションへの入口としての笑顔と挨拶。失敗に対するプラス評価。ダメモト精神と行動力。</p>  |
| 17GCRD0013 | 企業の見方          | 全て | <p>社会における企業の役割や多様性ととともに、その存在意義や様々な活動について考え、併せて、将来の進路選択や職業選択の際の参考材料を蓄える。また、多くの企業事例を見ながら、優良な企業や組織とはどのような条件を備えているかについて考察し、そのことによって、企業や業界を一般的なイメージとして捉えるだけではなく、個々の企業を具体的に観察する眼を養う。他方、学生自身の問題として、消費者としての目線から、生産者もしくはサービス提供者としての目線を獲得することをめざす。</p>   | <p>企業に関する様々な情報や知識の獲得。BtoB企業および中小企業に対する理解。具体的な個別の企業の見方。自分から企業等を調べる行動力。就職活動と就業に対する前向きな姿勢。主体的に就活を楽しむ逞しいマインド。自分自身の将来における夢や目標の発見。社会的関心。</p>   |
| 17GCRD0014 | 社会人基礎力とキャリアプラン | 全て | <p>グループワークやディスカッションを通じて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を養う。</p>  | <p>社会人として必要な能力および要素を言葉や知識だけではなく体感しながら理解する。</p>   |
| 17GCRD0015 | 卒業生が語る仕事と人生    | 全て | <p>学生にとって卒業後に始まる職業世界や社会人生活は未体験ゾーン。したがって不安と期待が錯綜するのは当然のこと。そんな学生たちにとって、社会人として活躍する卒業生に接することは大きな意味をもつ。夢と情熱と誇りをもって真摯に仕事に取り組む先輩の姿は、学生たちに尊敬や憧れの念を喚起し、自らの居場所に対する誇りを抱かせる。それだけにはとどまらない。</p> <p>先輩達からのメッセージに刺激や励ましを受けた学生たちは、自らの今の学生生活を見直し、学習意欲の向上や生活習慣の刷新、さらに自分に不足する能力開発へと、自分自身の成長と自立を強く意識し、そのための行動を起こし始める。その結果、学生たちは自分の可能性と自己効力感への気づきを得る。</p> <p>武庫川女子大学は教育推進宣言で「自立した学生を社会に送り出す」と謳う。本科目はその一助となることをめざす。</p> | <p>ロールモデルの発見。成長意欲と失敗の積極的受容とチャレンジ精神。主体性と行動力。努力の価値認識。就業意識の向上とプラス思考。自分の居場所への誇りと自己肯定感。武庫川女子大学の教育理念の理解。将来の夢と目標の醸成。学生生活の見直し。学習意欲の増進。社会的関心。読書習慣（本と新聞）。</p>  |
| 17GCRD0016 | チームで学ぶ企画力      | 全て | <p>チームで力を発揮する能力は社会に出て求められる大切な能力の一つである。この科目ではチームで知育アプリの商品企画を考え、企業にプレゼンテーションを行う。就職試験の面接や社会で求められる、企画力・プレゼン力・チームワーク力を身に付けることを目的とする。</p>  | <p>グループワークを通じて、いいチームになるための要素を理解し、他者の意見を認めながら有効な意見にまとめていくことができるようになる。また、企画・発想力・魅力的なプレゼンテーション技法、課題解決するためのロジカルシンキングを身に付けることができる。</p>  |
| 17GCRD0017 | キャリアカウンセリング入門  | 全て | <p>この科目は、キャリアカウンセリングの基礎知識を学び、それを実際に経験することを通して、自身のキャリア形成に役立てることが大きな目的となる。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアカウンセリングの基礎知識が分かる。</li> <li>自分理解・他者理解を深め、自身のキャリア形成に活用できる。</li> <li>傾聴力・発信力・問題把握力等、コミュニケーション力がつく。</li> <li>将来の職業選択の一つとしてキャリアカウンセリングを考えることができる。</li> </ul>   |
| 17GCRD0018 | キャリア心理学とキャリア設計 | 全て | <p>この科目では、「キャリア心理学」におけるさまざまな理論や実践方法を知ることにより広い視点から、自らの「キャリア設計」を考え、実践していく力を身に付ける。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの理論の視点の違いを知ること、広い視点で、自身のキャリアを考えることができる。</li> <li>意見交換を通して、考え合い・学び合う力がつく。</li> </ul>   |
| 17GCRD0019 | 成果を上げる協働力      | 全て | <p>環境変化の激しい昨今において、一般的に採用で重視していること、また、学生に足りないと感じていることで、最も多かったのは「主体性」と言われている。この授業は、仕事をしていく上で求められる「主体性」を獲得していくことを目的にしている。すなわち、与えられた仕事をこなすだけではなく、仕事そのものを自ら創造し、プロセスを設計し、目標を達成していくことである。この授業では、こうした一連の活動を体験的に学習し、主体的に物事に取り組む基礎となる能力、協働していくために必要な能力を獲得していくことをめざしていく。</p>  | <p>社会人として仕事をしていく上で求められる、チームワークを発揮して協働の実を高めていくことを実体験として学習することができる。そして、その中で経済産業省の提唱している「社会人基礎力」（職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力）一前に踏み出す力／考え抜く力／チームで働く力の体験的獲得が期待できる。これらは今後社会人として、主体的・自律的に仕事をしていく上で必須の能力である。こうした能力を「武庫女をより魅力的な大学にするには」という課題をチームで取り組むことによって獲得していく。</p> |

| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|-----------------|----|--|--|
| 17GCRD0020 | 面接評価とシグナルセオリー   | 全て | 企業が採用面接で重要視するポイントはいくつか存在します。中でも表現の仕方や表情などは大変重要なポイントです。そういったシグナルセオリーを理解し、実際に模擬面接等を体験することで社会人との円滑なコミュニケーションを可能にしていきます。 | 社会人との対話を想定し、どのように表現して伝えていくかを共有していきます。また実際に練習しながら表現力を高めていきます。                                     |
| 17GCRD0021 | 企業での女性活躍と働き方改革  | 全て | 『1億総活躍社会』の実現に向け、企業での女性活躍が、今まで以上に求められており、「女性活躍と働き方改革」を理解する。   | 社会人として活躍するために不可欠な企業に関する基礎知識と、企業の中での女性活躍・働き易さ、働き方改革等の組織の中で活躍するために必要な能力について理解し、主体的なキャリア形成への態度を習得する |
| 17GCRD0022 | 企業の海外展開と新たな潮流   | 全て | 大企業、中堅・中小企業に関わらず、海外との関わり合いは今後益々拡大していく。そのような状況の中で変化の激しい世界の経済動向・企業の動向などを理解し、キャリア形成に役立たせる。                              | 学生が就職活動または就職後に必要な基本的な海外関連知識を習得すると共にグローバル力（異文化の理解、戦力企画力等）を強化する。                                   |
| 17GCRD0023 | 企業で役に立つマーケティング力 | 全て | インターンシップ、入社後教育等で取り上げられる新事業提案等をこなせる力をつける為に基礎的なマーケティング力、新事業企画・新商品企画の流れを理解する。   | 企業での事業企画、新商品企画の進め方について講義およびグループワークを通じて体得する。  |

## 言語・情報科目群（言語リテラシー科目）

### 1. 英語

| 科目番号       | 科目名                   | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|-----------------------|----|--|---|
| 17GLIL0101 | 英 会 話 入 門             | 全て | 英会話学習が初めての学生が、初歩的な英会話力を身につけることを目的とする。身近な話題について積極的に話すことにより、英語で話す楽しさを実感できるようになることを目的とする。   | 他の受講者や外国人講師と積極的にコミュニケーションをとることにより、英会話の基礎力を身につけ、日常会話の初歩を習得する。  |
| 17GLIL0202 | 英 会 話 基 礎             | 全て | 英会話学習に興味がある学生や一定の英語力のある学生が、日常英会話の基礎を身につけることを目的とする。   | 他の受講者や外国人講師と積極的にコミュニケーションをとることにより、身近な話題を英語で表現できる基礎的な英会話力を習得する。  |
| 17GLIL0303 | 英 会 話 発 展             | 全て | 英語での会話を楽しいと感じられる程度の英会話力を持った学生が、会話をさらに広げていく技術を習得することを目的とする。   | 他の受講者や外国人講師と積極的にコミュニケーションをとることにより、自然で流暢な英会話力を習得する。  |
| 17GLIL0104 | English for Beginners | 全て | To improve students' English communication skills in speaking and listening. This will be a course for beginners and pre-intermediate learners. This English conversation course will be conducted in a very active way in an enjoyable environment.   | To gain confidence in speaking and listening in English about everyday topics and students' own interests and lives. The main focus of the class will be speaking.  |
| 17GLIL0305 | Short Mystery Stories | 全て | Reading a mystery story means finding the important words (clues) that help the reader find the important details in solving the case. The objective of this class is to use reading skills and logic skills to identify 'who did it' in each story. Each chapter has its own crime to be solved, so students can practice using logic skills throughout this class. | Students in this class can identify the specific parts of a mystery story and help each other to guess the meaning of the clues (important information). The goal of this class is to enjoy using English expressions commonly found in crime stories and dramas in order to solve the mystery. |
| 17GLIL0206 | English for My Life   | 全て | To improve your speaking and listening skills in English with interesting topics about your own interests and lives!   | To develop confidence and fluency in speaking and listening skills in English.  |
| 17GLIL0107 | 英 語 再 入 門             | 全て | 異文化を理解しグローバルな視点で活躍するための英語力の基礎を習得する。基本的な文法事項をベースとして、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を、実際に英語を使う経験を通して学ぶ。「6年間英語を学んだが、少しも英語が話せない」「もう一度英語に取り組みたい」という学生の声に応えることを目標とする。   | (1) 英語の基礎を学び直す<br>(2) 多文化・異文化に関する知識の理解<br>(3) 英語が苦手という意識の克服<br>(4) 英語を知ると広がる世界を知ること、英語を学習する意識を高める   |
| 17GLIL0108 | 英 語 入 門               | 全て | 語学を習得することは、世界市民の第一歩。英語に興味があるものの、初歩でつまづき諦めている人が、本コースを通して英語の基礎を固めることを目的とする。  | 英語は単に単位を取得するためのものではなく、実際に世界中の人とコミュニケーションを可能にし、世界とつながる喜びを体験できる言語であると実感することを目標とする。  |

| 科目番号       | 科目名                         | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|-----------------------------|----|--|---|
| 17GLIL0109 | 基礎英語                        | 全て | 人気映画や人口問題など、現代社会で話題となっているさまざまなトピックに関する英文を読み、基礎的な読解力を養成する。<br>本文の内容に沿ったテーマについて考え、意見・主張をまとめる力を養う。  | 基本的な文法を理解し、比較的平易な英文を読みこなすことができる。<br>自分の意見をまとめ、発信する力を養う。<br>楽しみながら英語の基礎を学ぶことで、英語に対する苦手意識を払しょくする。   |
| 17GLIL0110 | 英語リスニング入門                   | 全て | 異文化を理解し、グローバルな視点で活躍するための英語力の習得を目的とする。<br>具体的には、TOEICテストにおけるリスニングセクションの問題に慣れ、スコアアップのためのコツを身に付ける。また、英語コミュニケーション能力の基礎となる、英単語や英文法の基礎的な知識を確認する。原則として2ユニットの通常講義(Review章は除く)を済ませた後に、小テストを実施する。  | (1) TOEICのリスニング分野の得点アップ<br>(2) 様々なメディアの英語が聞き取れるリスニング力を身につける<br>(3) 多文化・異文化に関する知識の理解<br>(4) 英語を知ると広がる世界を知ること、英語を学習する意識を高める   |
| 17GLIL0111 | 英語リーディング(初級)                | 全て | 英語は初級レベルで、長文読解も苦手という学生が、まずはパラグラフの構造や読み方のコツを知り、効率的、かつ確実に内容を理解できるようになる。  | パラグラフの構造に様々なパターンがあることや見落としてはならないポイントを押さえる。そのような学習を通じて、長文を読むことに自信をつける。   |
| 17GLIL0212 | 英語リーディング(中級)                | 全て | 現在進行する地球規模の様々な問題、特に健康に関する課題について正確に早く読めることを目指し、英語文献も理解できる能力の向上をはかる。   | 時事関連の理解に必要な語彙、表現を身につけるとともに語句のつながりに意識しながら正確に素早く読めるようになることを目標とする。   |
| 17GLIL0113 | 旅行に役立つ英会話                   | 全て | 旅先で言葉(英語)の壁に阻まれることなく、有意義な時間を過ごすために必要な英語力を身につけることを目的とし、海外旅行に必要な英語表現を学ぶ。   | 出国から帰国までの想定される26のシーンで基本的なコミュニケーションが図れる会話を身につけることを目標とする。   |
| 17GLIL0114 | Travelling in Asia          | 全て | To give students the English language skills and geographical knowledge required to travel in Asian countries such as China, Korea and Thailand. This will be a course for beginners and pre-intermediate learners. The main focus of the class will be speaking. This English conversation course will be conducted in a very active way in an enjoyable environment.   | This course will (a) enhance students' ability to communicate in English while travelling abroad with confidence, (b) improve their English pronunciation skills, and (c) develop their knowledge of countries in Asia.   |
| 17GLIL0215 | やさしいビジネス英語                  | 全て | 今やあらゆる企業の成長戦略にとって、海外との事業は不可欠になりつつある。実業界では異文化を理解し、グローバルに人のネットワークを築くことができる人材が求められている。国際ビジネスで活躍する為に必要なコミュニケーション・ツールとしての英語力の育成を目的に、事業活動に必要なリスニングとスピーキング基礎能力の習得を目指す。  | 企業活動における英語でのコミュニケーション基礎能力の習得。<br>グローバル化の意味や問題点の理解。<br>企業の組織やマネジメントの基礎知識の理解。<br>コミュニケーションにおける日本語、海外と日本の文化・歴史の重要性の理解。   |
| 17GLIL0216 | English for Studying Abroad | 全て | Encountering a new culture and using a new language are part of the challenge of studying abroad. In preparation for traveling or studying abroad, students can enjoy the process of getting ready in this course. The objective of this class to help students think about their own expectations about the customs and style of life in another country.   | Learning about the communication or academic styles of another culture is part of the adventure of studying abroad. When students compare their ideals of living abroad to the reality of it, there could be moments of culture stress. In this course, students can learn about their personal styles of learning and communication as they discuss about common topics introduced through activities and discussions.                                   |
| 17GLIL0317 | Cross-cultural Exploration  | 全て | Exploring different cultural perspectives will give students the chance to learn about international life and ideas. Culture is woven into the fabric of every language; examining different cultures brings a deeper understanding of English. As students enjoy learning about international communication and culture at a deeper level, they will be able to understand their own culture in new ways. The objective of this course is for students to increase in knowledge and awareness of international communication and cultural issues. | Students will develop their English skills of expressing opinions and asking questions as they study about international conditions in various societies. Specifically, they will use their English skills of reading, writing and conversation as they increase their knowledge of English communication and international culture. The goal is to increase the students' level of cultural knowledge of international achievements through this course. |
| 17GLIL0218 | International Sightseeing   | 全て | Where in the world do you want to travel? In this class, students can explore many places by enjoying videos of famous places around the globe. The objective of this class is to encourage curiosity to discover new places and new ways of living on this planet. From every corner of the world, we can find things that we have in common and things that are original to that place.  | What accents of English have you heard? One goal of this class is to enjoy listening and speaking with a variety of English sounds. Another goal of this class is to become more globally minded and to have some basic knowledge of regional differences of northern and southern continents. Each city and country has a icon or custom that we can see or learn, which creates a positive impression of that place.                                    |



| 科目番号       | 科目名                        | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|----------------------------|----|--|--|
| 17GLIL0319 | Trends in Society          | 全て | Everyday something new is being made, being discussed, being explored. Through our personal interests and ideas, we can enjoy sharing together about the current trends in society. Students will discuss about interesting current issues and expand their knowledge about how they contribute to the trends in Japan and internationally. Students will practice their skills of critical thinking and learn to express their opinions clearly as they present and discuss information together. | New blogs and sources of information are easy to find through online sites, but it is important to know how to evaluate this information. The skill of evaluating sources of information will be emphasized in this class. Students can enjoy developing their English skills as they learn to discuss about current topics that are related to their personal interests. The focus of this course is to increase the students' knowledge of the ways that fashion, entertainment, history and popular culture connect to past and current trends. |
| 17GLIL0320 | 英語ニュースを読む                  | 全て | 話題のニュース記事を原文で読み、英文読解に慣れる。<br>英字新聞の読み方を知る。  | 背景知識を駆使すれば簡単な内容の英字新聞の記事内容を概ね理解することができる。<br>時事英語理解のために必要な語彙を理解できる。  |
| 17GLIL0221 | ネットで学ぶ英語                   | 全て | 「グローバル化」ということばが聞かれるようになって久しいが、グローバル化をめぐる問題について深く考察する機会に恵まれている学生は少ないのではないか。本授業では「グローバル化」について学んだ後、教育とジェンダー、貧困と飢餓、飲料水の確保、難民など世界で起こっている問題に関する必修語彙や概念について学び、現況を知る。その上でネットを使ってこれらの問題に関する情報を入手する能力を養ったり、考察する力を養う。   | 世界で起こっている様々な事象に関心を持ち、自主的に調べ、学習できるようになる。さらには、それらの事象に関わる情報や活動を一面的に捉えるのではなく、多面的に捉える力を養う。  |
| 17GLIL0322 | 映画で学ぶ英語                    | 全て | 映画『タイタニック』のおもしろさを通して口語英語に慣れ親しみ、映画を通して英語を学ぶ楽しさを感じてもらいたい。  | 映画に出てくる語彙や表現を習得し、映画の場面のリスニングを繰り返し練習を行うことでより自然に映画の内容を理解できるようになることを目標とする。  |
| 17GLIL0223 | English Using Multimedia   | 全て | The course objective is to develop students skills and abilities in listening and reading (receptive skills) in English, via a variety of Multimedia including TV commercials, DVD's (drama, comedy or movies), You Tube, Ted Talks & English songs.   | To primary goal of this class is to develop student skills in both listening and reading via use of Multimedia. Through careful listening and vocabulary-building activities, students will be able to understand spoken English at native speed. A secondary goal is to develop the skills of reading and writing, to complement and reinforce the achievement of the primary goals. The prescribed textbook will be used for these reading and writing activities.   |
| 17GLIL0224 | American Society in Movies | 全て | Movies are a combination of language learning and storytelling. Students can hear natural expressions and vocabulary that are connected to specific themes in movies, such as family values, childcare, education and relationships. Societal values can be observed through movies, and students will add to their knowledge of American society in this class.   | Within a movie, there are specific social behaviors and language patterns that can be identified as cultural norms. Students will practice identifying and describing common issues as they watch movie clips about American society. The goal of this course is to increase students' awareness of the values being reflected in the decision-making of the characters in the film, as well as, gain language skills to describe their understanding of these common issues.  |
| 17GLIL0125 | TOEICリスニング(初級)             | 全て | TOEICのリスニングは、ナチュラルスピードで、ビジネス志向の会話やアナウンスを聞き取り、重要なポイントのみを理解することが求められる。初級レベルでは、設問形式に慣れることと、聞こえたとおりの音を再生することで、聞き取りに必要なリスニングの基礎力を築く。  | Part 1：人物の行動・建物や乗り物などの写真を見て瞬時に状況を把握し、問題を予測することで、スコアアップを目指す。<br>Part 2：疑問詞の聞き取りから、質問内容を正確に予測することを目指す。<br>Part 3：2人の会話の大筋の把握を目指す。<br>Part 4：アナウンス・広告等の大筋の把握を目指す。   |
| 17GLIL0126 | TOEICリーディング(初級)            | 全て | TOEICのリーディングパートは、文法・語彙・ビジネスレター・メール等多岐に渡る設問に対応できる英語力が必要とされている。授業では、それぞれのパートの設問形式に慣れる・文法・ビジネス英文読解の基礎力を築く。  | TOEICテストPart 5・6の文法・構文問題を解くための基盤を作り、基礎的な問題を中心に正答数を1つでも増やす。<br>また、Part 7の比較的易しい問題の形式を学習し、演習問題を多く解くことで、スキミング・スキミング等のスキルを習得する。またテキスト内の初級頻出語彙力を同時に身につける。   |
| 17GLIL0227 | TOEICリスニング(中級)             | 全て | 基礎的な英語力があり、TOEICの試験形式にある程度慣れている学生 (TOEIC/L&Rスコア450点程度以上) を対象として、TOEICリスニングセクションのさらなるスコアアップを目指す。  | TOEICリスニングセクションの各パートの頻出表現、出題パターンだけでなく、リテンションなどのリスニングスキルの学習を通して、全体的な内容を理解したり、必要な情報を聴き取るコツを身につける。  |



| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的  | 到達目標  |
|------------|-----------------|----|---|---|
| 17GLIL0228 | TOEICリーディング(中級) | 全て | 基礎的な英語力があり、TOEICの試験形式にある程度慣れてる学生(TOEIC/L&Rスコア450点程度以上)を対象として、TOEICリーディングセクションのさらなるスコアアップを目指す。   | TOEICのリーディングセクションの各パートの攻略ポイントを学習し、限られた時間内にできるだけ多くの情報を正確に処理する能力を養う。  |
| 17GLIL0129 | TOEIC(初級)       | 全て | 英語力を必要とする企業が増え、就職活動時に学生にスコアを求める企業も増加している。TOEICは、身近な事柄からビジネスに関連する事項まで、幅広くコミュニケーションを行う能力を測る目的で作られているが、学生には馴染みの薄い場面も多く含まれる。本授業では試験の形式に慣れ、英語力の向上と共に効率よくスコアアップをはかる事を目的としている。 | TOEICスコア500点程度を目指す。<br>[リスニング到達目標]<br>・音声変化や音のしくみを理解し、発音力を上げる。<br>・1度に数行単位の英文を聞き取り意味を把握する。<br>[リーディング到達目標]<br>・文の内容を理解するにあたり最も大切である名詞と動詞に加えて、詳細説明に使われる形容詞や副詞の理解も目指す。<br>・TOEIC特有の場面設定に慣れ、語彙や表現を増やす。 |
| 17GLIL0330 | TOEFL入門         | 全て | 海外の大学・大学院、日本の大学院の一部で受験時にTOEFLスコアの提出が求められる。本授業ではそれらの大学・大学院を目指している人や、よりアカデミックな内容の英語を学びたいという人が、その第一ステップとしてTOEFLの形式並びにポイントを学び、TOEFL-ITPの3Sectionで求められる力を習得する事を目的とする。        | TOEFLに必要な語彙力・リスニング力・読解力の基礎を習得する。  |
| 17GLIL0331 | TOEIC(上級)       | 全て | 推測や同意語を導き出す設問等、難易度が高い問題に数多く取り組むことにより、一層のスコアアップを目指す。   | TOEICの両パートともに中・高難易度の演習問題に触れ、70~75%以上の正答率を保持する。  |

## 2. 英語チャレンジコース

| 科目番号       | 科目名                            | 学年  | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|--------------------------------|---|---|--|
| 17GLIL0232 | Preparation for Presentation 1 | 選<br>抜<br>さ<br>れ<br>た<br>学<br>生<br>の<br>み | バランスのとれた高い英語力(話す・聞く・書く・読む)+社会人基礎力を身につけることを目標に3年間に渡り学習を継続するチャレンジコースにおいて、プレゼンテーション能力は必須である。コース初年度にそのベースを築くために必要な項目をテーマ毎に学びながら、実際のスピーチを繰り返し行い「人前で話す」ことに慣れる訓練を行う。   | TOEIC550-600点程度<br>腹式呼吸を身につけ適切な音量で話すことができる<br>英語で簡単な内容のスピーチを行うことができる(2分程度)   |
| 17GLIL0233 | Speaking & Listening 1         |   | The focus of the speaking and listening class is to help students practice different strategies of communication for successful interactions. Another objective of this class is to help students hear language they already know but may not be able to produce when they speak. In other words, aspects of speaking and listening skill building can be immediately applied to real discussions as students recycle the words they learn. | Communication skills practiced in this class include learning to speak slowly and clearly, using tools of technology for language learning, paraphrasing and linking new ideas to prior knowledge. The goal is to help students immediately improve their ability to communicate in situations where they know what they want to say but have not completely found the manner in which to say it.          |
| 17GLIL0234 | Grammar & Pronunciation        |   | 基本的な文法事項を復習し、リーディング力の向上を目指す。また、英語の音韻的な特徴を理解し、基本的な発音を習得してリスニング力やスピーキング力の向上を目指す。  | 文法演習により文の構造への理解を深め、特に精読するための読解力を養う。また、英語の母音と子音の発音方法、同化、脱落などの音変化、並びにアクセント・リズム・イントネーションなどの知識を深め、より正確な発音ができるようにする。  |
| 17GLIL0235 | Preparation for Presentation 2 |   | バランスのとれた高い英語力(話す・聞く・書く・読む)+社会人基礎力を身につけることを目標に3年間に渡り学習を継続するチャレンジコースにおいて、コース初年度にそのベースを築くために必要な項目をテーマ毎に学びながら、実際のスピーチを繰り返し行い「人前で話す」ことに慣れる訓練を前期同様継続する。   | TOEIC600-650点程度<br>英語で即興スピーチを行うことができる(2分程度)<br>聴衆の反応をコントロールできる   |
| 17GLIL0236 | Speaking & Listening 2         |   | Using the skills from Speaking and Listening 1 class, students will continue to build strong communication skills during this term. The first objective is for students to develop the speaking strategies necessary to have fluent conversations in a variety of advanced situations. The second objective is for students to develop the listening proficiency to understand natural English as it is actually spoken.                    | Speaking skills practiced in this class include circumlocution, paraphrasing, backchanneling, and linking information together. Listening skills include being able to identify and understand sentence stress, weak vowels, linking, reduced forms, deletion, and other features of natural English speech. By practicing these skills, students will be able to communicate effectively and confidently. |

| 科目番号       | 科目名                         | 学年  | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|-----------------------------|---|---|--|
| 17GLIL0237 | Reading & Writing           | 選<br>抜<br>さ<br>れ<br>た<br>学<br>生<br>の<br>み | 様々な分野の最新の話題や新聞、雑誌記事、TOEFL、IELTSのリーディング問題など、多様な文章スタイルを読みこなすスキルを習得する。また、英文パラグラフ・ライティングの構成法を学習し、適切な英文を書く力を養成する。  | 英文を意味のまとまりで区切り、後ろから前に戻ることなく英語の語順のまま読解するフレーズリーディングのスキルを習得する。また、英文を書く時に注意しなければならないルールを理解し、実際のライティングに応用する能力を養う。   |
| 17GLIL0338 | Writing for Daily Use       |   | To prepare students for English writing as a tool of communication in a global world.<br>Present day business writing is mostly electronic, so students will be able to compose and respond using English for a variety of situations and purposes.   | Via active learning class activities, group work activities and interactive practice in class, students will complete writing assignments and become more confident and able writers of English.   |
| 17GLIL0339 | English for Careers         |   | 広義にcareerの意味を捉え、仕事や日常生活の中で英語の使用が要求される場面に適切に対応できる英語力を身に付けることを目的とする。  | 仕事における英語使用場面に対応できる。日常生活における英語使用場面に対応できる。   |
| 17GLIL0340 | P r e s e n t a t i o n 1   |   | Public speaking is an important skill to practice because it takes a lot of courage to speak to new groups of people with confidence.<br>Presentations are designed to communicate creative ideas, personal opinions or interesting information to people (classmates) and the objective of this class to prepare students to enjoy giving a variety of presentations.  | Some of the skills that students will practice in this class include learning to speak slowly and clearly, using tools of technology (powerpoint), finding sources for information that are trustworthy, and outlining information to make a successful presentation. These goals are measured and recorded by both students and the instructor throughout the course. This class will help students to prepare for future job interviews and other projects that they may need to do in their future occupations. |
| 17GLIL0341 | P r e s e n t a t i o n 2   |   | Public speaking is an important skill to practice because it takes a lot of courage to speak to new groups of people with confidence.<br>Presentations are designed to communicate creative ideas, personal opinions or interesting information to people (classmates) and the objective of this class to prepare students to enjoy giving a variety of presentations.  | This course is a continuation of the `Presentation 1` course held in the Spring 2016 semester. Public speaking is an important skill to practice because it takes a lot of courage to speak to new groups of people with confidence. Presentations are designed to communicate creative ideas, personal opinions or interesting information to people (classmates) and the objective of this class to prepare students to enjoy giving a variety of presentations.   |
| 17GLIL0342 | Speaking & Listening 3      |   | Using the skills from previous speaking and listening classes, students will continue to build strong communication skills during this term. Students can accelerate their progress in speaking and keep a record of their own learning with technology tools that will be introduced in this class. This generation of learners can enjoy more opportunities to use English inside and outside of the classroom. | Students work together to improve their English communication ability as they continue to use the strategies that they acquired during the challenge course. The goal of this course is to increase the students' confidence to express their opinions clearly as they describe their personal experiences and ideas in English.   |
| 17GLIL0343 | Reading & Discussion        |   | 英文を読み、その内容を理解する力を養うために必要な知識を身につける。英語圏の文化や社会を理解するための読み物を通して、単に知識を得るだけでなく、同時に深く思考し、考察する力を養う。また、議論する力を培う。  | リーディングを効果的に行なう技術を習得する。聖書や英字新聞などを読み、理解する。クラスメイトとの討論の中で、自らの考えをまとめる力を習得する。  |
| 17GLIL0444 | Global Communication        |   | To improve students' English communication skills. This course will be for upper-intermediate learners. It will be conducted in English and in a very active way in an enjoyable environment.   | To improve communication and presentation skills in English. The course will focus mainly on cultural understanding and global issues.   |
| 17GLIL0445 | Reading & Critical Thinking |   | さまざまなトピックに関連する英文を読み、英語圏の文化や社会の理解し、その内容を把握する。クリティカルシンキングの力を養う。   | 英字新聞や聖書の他、受講生が関心を抱くテーマに関連する英文を読み、その内容を理解する力を習得する。自らの考えをまとめ、クラスメイトとの討論の中で、客観的・論理的に伝える力を習得する。  |
| 17GLIL0446 | C u r r e n t E v e n t s 1 |   | What important events are happening in Japan and around the world today? Finding answers to that question is the main objective of this class. Some changes in society happen quickly and we need to stay updated about events that are changing our world. We are part of "history in the making" and students in this course will interact together about these current events.                                 | Within the global world, we can connect together on a local level by communicating about the events and values that are important to us. Talking about current issues creates an opportunity to think about the personal impact of these events on students' lives. The goal of learning is to find 'your voice' and make a difference in this world. Many questions will be asked during class discussions about how your 'personal footprint' is being made now.   |

| 科目番号       | 科目名                           | 学年        | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|-------------------------------|-----------|--|---|
| 17GLIL0447 | Current Events 2              | 選抜された学生のみ | Building on the skills and information learned in the Current Events I class, students will continue to evaluate and describe events that are affecting people in Japan and around the world. The future is built on the personal contributions of each person and how they can change the world. In this class, we will look at people who have made a strong impact on this world. | Within the second term, students will change their focus to identifying how current events affect people, both internationally and domestically. The stories that are reported in the news can often be negative, but in this class the goal is to discover the stories about people who have experienced challenging events in their lives and found hope.   |
| 17GLIL0448 | Career Workshop 3             |           | 英語チャレンジコース最終年度にあたり、自己表現と相互理解のためのコミュニケーション力の総仕上げを行うことを目的とする。  | 自身の専門分野について英語で発信できる。クラスメートの専門分野について概要を英語で理解できる。それぞれの専門分野について英語でディスカッションできる。TOEIC800点クリア。  |
| 17GLIL0449 | Global Advanced Communication |           | This course will prepare students to have deep, meaningful, and successful interactions while discussing a variety of global topics and issues. To this aim, students will develop both their communicative abilities and an understanding of important world issues.  | This course has the following goals:<br>1) To improve students' communicative abilities, including conversational strategies and listening skills.<br>2) To develop students' overall English proficiency, including the vocabulary knowledge necessary to deal with a variety of difficult topics.<br>3) To increase students' knowledge of various world issues and discover what is most important to themselves on an individual level. |

### 3. ドイツ語

| 科目番号       | 科目名     | 学年 | 科目目的  | 到達目標  |
|------------|---------|----|---|---|
| 17GLIL0150 | ドイツ語 I  | 全て | ドイツ語の骨組みを修得する。テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全体をバランスよく学習する。テープ・ビデオなどを利用し、口頭練習など、受講生の積極的参加を前提とする。文法面では、全体の見直し（テキスト最終項目まで）を第一とし、細部はIIにゆだねる。 | この授業を通じて受講生が、ドイツ語テキストの理解やコミュニケーションの際に必要な知識を獲得するのが到達目標である。客観的な指標としては、ドイツ語検定試験4級・5級に合格可能な能力を身につけることである。 |
| 17GLIL0151 | ドイツ語 I  | 全て | ドイツ語の骨組みを修得する。テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全体をバランスよく学習する。テープ・ビデオなどを利用し、口頭練習など、受講生の積極的参加を前提とする。文法面では、全体の見直し（テキスト最終項目まで）を第一とし、細部はIIにゆだねる。 | 異文化に関する知識の理解とドイツ語基礎文法の習得。   |
| 17GLIL0252 | ドイツ語 II | 全て | ドイツ語Iで習得した骨組みに肉付けをほどこす（Iで省いた文法知識を補うとともに、単語面でも充実をはかる）。4技能のバランスをとること、テープ・ビデオの利用などはIと変わらないが、担当者によって、独自の方向性（旅行目的・料理関係・ファッションへの関心など）。    | 異文化に関する知識の理解とドイツ語中級文法の習得。   |

### 4. フランス語

| 科目番号       | 科目名     | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|---------|----|--|--|
| 17GLIL0153 | フランス語 I | 全て | フランス語の骨組みを修得する。テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全般をバランスよく学習する。テープ・ビデオなどを利用し、口頭練習など、受講生の積極的参加を前提とする。文法面では、全体の見直し（テキスト最終項目まで）を第一とし、細部はIIにゆだねる。 | 第一に学生がフランス語で自己紹介ができるようになること、第二に学生がフランス語検定5級を受験できる程度の文法を習得すること。       |
| 17GLIL0154 | フランス語 I | 全て | フランス語の骨組みを習得する。テキストに基づいて「聞く・話す・読む・書く」の技能全般をバランスよく学習する。CDやビデオなどを利用し、口頭練習など、受講生の積極的参加を前提とする。文法面では全部を網羅できないので、引き続きフランス語IIで学習を続けてほしい。    | 正しい発音を習得して、綺麗にフランス語の文を発音できるようにする。文法を理解して、基礎的表現を言ったり書いたりできるようにする。     |
| 17GLIL0155 | フランス語 I | 全て | 初級文法および基本的な表現を学び、フランス語を「読み・書き・話す」ために必要な基礎知識の習得を目指す。  | 基礎的な文法や表現の学習を通して、学生が簡単な出来事や行動を表わすフランス語を理解し運用できる力を養う。同時に、異文化への関心を広げる。 |



| 科目番号       | 科目名      | 学年 | 科目目的  | 到達目標  |
|------------|----------|----|---|---|
| 17GLIL0256 | フランス語 II | 全て | Iで修得した骨組みに肉付けをほどこす（Iで省いた文法知識を補うとともに、単語面でも充実をはかる）。4技能のバランスをとること、テープ・ビデオの利用などはIと変わらないが、担当者によって、独自の方向性が生まれる（旅行目的、料理関係、ファッションへの関心など）。 | 第一に生徒がフランス語での自己紹介だけでなく、簡単な会話ができるようになること、第二に生徒が絵本など簡単なものであれば原書で読めるようになること、第三に生徒がフランス語検定4級が受験できる程度の文法を習得すること。 |

## 5. 中国語

| 科目番号       | 科目名    | 学年 | 科目目的  | 到達目標  |
|------------|--------|----|---|---|
| 17GLIL0157 | 中国語 I  | 全て | 現在、中国語の標準語「普通話」（プートンファー）のローマ字表記「ピンイン」システムは公式の場のほか、インターネットの分野でも広く使われている。教科書では中国に旅をする日本人留学生が現地ですれ違ったさまざまな場面を取り上げるコンパクトな会話によって構成されている。 | 第1～5回、中国を学ぶにおいて、最も重要な段階である。毎回の出席は勿論、中国語の発音システムを習得するために、CDを聞きながら書く練習を強くすすめる。 |
| 17GLIL0258 | 中国語 II | 全て | 中国語Iと同じ教科書を使い、最後まで学び通す。中国語の基礎的な知識を習得し、簡単な文章を読み解くことができる。   | 全て終了した暁には公式の検定試験にも挑戦できる実力を身につけることを目標とする。                                    |

## 6. イタリア語

| 科目番号       | 科目名     | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|---------|----|--|--|
| 17GLIL0159 | イタリア語初級 | 全て | 学生は授業を通じて次の5点を目指す。<br>1. 学生はイタリア語の骨組を修得する。<br>2. テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全般の初歩をバランスよく学習する。<br>3. 文法面では、全体の見通し（テキスト最終項目まで）を第一とする。<br>4. イタリアの生活文化に触れ、大筋を理解する。<br>5. グローバルな視点で活躍するためのリテラシーと基礎知識を修得する。 | 学生は授業を通じて次の2つの目標の到達に取り組む。<br>1. 学生は初級ではイタリア語特有の発音や、活用と語尾変化の基礎などをしっかり押さえた上で、簡単な日常会話の発話練習を行い、基本的な表現に習熟する。<br>2. 「イタリア語初級」を履修、修了して、基礎力が定着したと認められる学生は「イタリア語中級」（ネイティブ講師指導）でさらなる語学カアップに挑戦する。 |
| 17GLIL0260 | イタリア語中級 | 全て | レベルA1（ヨーロッパ言語共通参照枠）のイタリア語を使いこなせるようになる（2017年度 前期～後期）  | 1. コミュニケーションの表現の繰り返しを通して、イタリア語での会話ができるようになる練習<br>2. イタリアでの留学に役に立つ会話<br>3. イタリアの文化に触れる  |

## 7. スペイン語

| 科目番号       | 科目名     | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|---------|----|--|--|
| 17GLIL0161 | スペイン語 I | 全て | スペイン語文法の基礎を身につけることを目的とする。平易な文章の理解、および簡単な日常会話の習得を目的とする。 | 直説法現在形のみならず命令形も学び、それを用いて簡単な表現を理解し、基本的な会話表現ができるようになることを目指す。 |

## 8. ハングル

| 科目番号       | 科目名    | 学年 | 科目目的                       | 到達目標   |
|------------|--------|----|----------------------------|--|
| 17GLIL0162 | ハングル I | 全て | 韓国語の基礎を学ぶ。コミュニケーション能力を高める。 | 1. ハングルが書け、音読できる。<br>2. 決まり文句・挨拶表現が話せる。<br>3. 自己紹介ができる。<br>4. 簡単な日常表現が話せる。<br>5. 数字を聞き取り、買い物ができる。<br>6. 辞書が引ける。<br>7. 基本文型を使った短い文が書ける。 |

| 科目番号       | 科目名     | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|---------|----|--|---|
| 17GLIL0163 | ハングル I  | 全て | 韓国語の基礎を習得する。特に「聞く・話す」に重点を置いた授業を行う。   | 1. 韓国旅行をしたり、韓国人の友達を作ったりできる最低限の韓国語を身につける。<br>2. 韓国語の習得を通じて、人間関係を結べるコミュニケーション能力をつける。  |
| 17GLIL0264 | ハングル II | 全て | 韓国語での意思疎通に必要な中級の語尾や語彙を習得し、それらを使った会話ができるようになることを目指す。また韓国語での情報発信能力向上にも力を入れる。 | 1. 韓国人と円滑なコミュニケーションを取れる韓国語を身につける。<br>2. 韓国語の習得を通じて、人間関係を結べるコミュニケーション能力をつける。<br>3. 韓国文化についても学ぶ。<br>4. 日本の文化や、西宮市や兵庫県の名所などを韓国語で紹介する練習も行う。 |

## 9. 手話

| 科目番号       | 科目名 | 学年 | 科目目的                                       | 到達目標                              |
|------------|-----|----|--|-----------------------------------|
| 17GLIL0065 | 手話  | 全て | 日本で使用されている言語の一形態として、聴覚障害者の言語である「手話」の基本を学ぶ。 | 手話であいさつや自己紹介、ごく身近な話題などの簡単な会話ができる。 |

## 10. 国際センター主催 語学留学プログラム

| 科目番号       | 科目名         | 学年 | 科目目的  | 到達目標  |
|------------|-------------|----|---|---|
| 17GLIL0066 | 特別英語演習 I    | 全て | 英語を母語とする社会において生きた英語によるコミュニケーションの喜びを経験することによって、英語がグローバル・シチズンへのパスポートであることを認識する。 | 異文化を直接経験することによって、欧米の文化を正しく理解し、同時に自国文化を再認識することを目標とする。                                    |
| 17GLIL0067 | 特別英語演習 II   | 全て | 英語を母語とする社会において生きた英語によるコミュニケーションの喜びを経験することによって、英語がグローバル・シチズンへのパスポートであることを認識する。 | 異文化を直接経験することによって、欧米の文化を正しく理解し、同時に自国文化を再認識することを目標とする。                                    |
| 17GLIL0068 | 特別中国語演習 I   | 全て | グローバルな考え方を持つため中国語でコミュニケーションできる経験をつちかう。  | 中国の文化・歴史・生活を知り、隣接する東アジアの国の発展・情勢を学び、他国と日本の違いに触れることを通じて基本的な中国語を習得する。                      |
| 17GLIL0069 | 特別中国語演習 II  | 全て | グローバルな考え方を持つため中国語でコミュニケーションできる経験をつちかう。  | 中国の文化・歴史・生活を知り、隣接する東アジアの国の発展・情勢を学び、他国と日本の違いに触れることを通じて基本的な中国語を習得する。                      |
| 17GLIL0070 | 特別ハングル演習 I  | 全て | グローバルな社会で必要な外国語の中の韓国語に触れ、経験を通してその重要性を知る。                                      | 韓国社会において生きた韓国語を学び、韓国文化を実体験することによって、両国の人々の考え方・感じ方を正しく理解し、東アジアにおける自文化の位置づけを再認識することを目標とする。 |
| 17GLIL0071 | 特別ハングル演習 II | 全て | グローバルな社会で必要な外国語の中の韓国語に触れ、経験を通してその重要性を知る。                                      | 韓国社会において生きた韓国語を学び、韓国文化を実体験することによって、両国の人々の考え方・感じ方を正しく理解し、東アジアにおける自文化の位置づけを再認識することを目標とする。 |

## 11. 日本語（外国人留学生のみ履修できます）

| 科目番号       | 科目名       | 学年 | 科目目的  | 到達目標                                  |
|------------|-----------|----|---|---------------------------------------|
| 17GLIL0072 | 日本語初級 III | SA | 日本語初級 I・II で習得した文法や語彙をさらに拡充し、物事をより詳しく説明したり話者の気持ちをより細かく伝える表現を習得する。 | 物事をより詳しく説明したり、話者の気持ちをより細かく伝えられるようになる。 |
| 17GLIL0073 | 日本語初級 IV  | SA | 日本語初級 I・II で習得した文法や語彙をさらに拡充し、物事をより詳しく説明したり話者の気持ちをより細かく伝える表現を習得する。 | ひらがなやカタカナ、簡単な漢字を習得し、やさしい文章が読めるようになる。  |

| 科目番号       | 科目名        | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|------------|----|--|---|
| 17GLIL0074 | 日本語中級 I    | SA | 中級文法・文字語彙を習得し、どのような場面や状況においても、やや抽象的な表現を用いて、無理なく速く情報を得る能力を養う。         | (1) 年2回の日本語能力試験N3に水準を合わせる。<br>(2) 文法、文字語彙、読解、聴解の4技能をバランスよく使えるようにする。<br>(3) レベル別ライト作品を多読する。  |
| 17GLIL0075 | 日本語中級 I    | SA | 中級文法・文字語彙を習得し、どのような場面や状況においても、やや抽象的な表現を用いて、無理なく速く情報を得る能力を養う。         | (1) 年2回の日本語能力試験N3に水準を合わせる。<br>(2) 文法、文字語彙、読解、聴解の4技能をバランスよく使えるようにする。<br>(3) レベル別ライト作品を多読する。  |
| 17GLIL0076 | 日本語中級 II   | SA | 中級文法・文字語彙を習得する。  | どのような場面や状況においても、やや抽象的な表現を用いて、無理なく速く情報を得る能力を養う。  |
| 17GLIL0077 | 日本語中級 II   | SA | より高度で抽象的な表現や文法・文字・語彙を習得する。   | 漢字1000字程度の生教材やエッセイを速読できる実力を養う。  |
| 17GLIL0078 | 日本語中級 III  | SA | より高度で抽象的な表現や文法・文字・語彙を習得し、漢字1000字程度の生教材やエッセイを速読できる実力を養う。              | (1) 年2回の日本語能力試験N2に水準を合わせる。<br>(2) 文法、文字語彙、読解、聴解の4技能をバランスよく使えるようにする。<br>(3) メディアを効果的に利用し、自分の考えを豊かに表現する。  |
| 17GLIL0079 | 日本語中級 III  | SA | より高度で抽象的な表現や文法・文字・語彙を習得し、漢字1000字程度の生教材やエッセイを速読できる実力を養う。              | 読む・書く・聞く・話すの四技能の習得を目指す。   |
| 17GLIL0080 | 日本語中級 IV   | SA | より高度で抽象的な表現や文法・文字・語彙を習得する。   | 漢字1000字程度の生教材やエッセイを速読できる実力を養う。  |
| 17GLIL0081 | 日本語中級 IV   | SA | より高度で抽象的な表現や文法・文字・語彙を習得する。   | 漢字1000字程度の生教材やエッセイを速読できる実力を養う。  |
| 17GLIL0082 | 日本語・上級 I   | SA | 社会生活に必要な総合的な日本語能力の定着を目指し、言語知識の習得と言語運用能力の育成を図る。<br>日本語能力試験1級の水準に合わせる。 | 学生が日本語での「論理的な文章の書き方」の学びを通して、以下のことを目標とする。<br>①論理的な思考方法を身につけること。<br>②論理的な文章の展開方法を学び、文章構成を考えること。<br>③説明的文章を多く読み、内容、構成、論理の組み立て方に注意すること。<br>④日本語の新聞が自由に読み、理解できること。                   |
| 17GLIL0083 | 日本語・上級 II  | SA | 日本の大学で学ぶために必要な日本語を習得する。  | 日本の大学の講義を聴き、意見発表や報告ができる総合的な日本語能力を養う。  |
| 17GLIL0084 | 日本語・上級 III | SA | 社会生活に必要な総合的な日本語能力の定着を目指し、言語知識の習得と言語運用能力の育成を図る。<br>日本語能力試験1級の水準に合わせる。 | 学生が日本語での「論理的な文章の書き方」を学ぶことを通し以下のことを目標とする。<br>①論理的な思考方法を身につけること。<br>②論理的な文章の展開方法を学び、文章構成を考えること。<br>③説明的文章を多く読み、内容、構成、論理の組み立て方に注意すること。<br>④日本語の新聞が自由に読み、理解でき、それについての意見発表、討論ができること。 |
| 17GLIL0085 | 日本語・上級 IV  | SA | 日本の社会で活動するために必要な日本語を習得する。  | 日本の社会で必要な一般知識を学び、情報を収集し意見表明や報告ができる総合的な日本語能力を養う。   |

言語・情報科目群 (情報リテラシー科目)

| 科目番号       | 科目名          | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|--------------|----|--|--|
| 17GLII0001 | Excelで学ぶ基礎統計 | 全て | 情報化社会の進展により、私たちの暮らしの中には多くのデータが溢れている。そのデータを適切な方法で分析し、価値のある情報を見出していくためには、統計学の知識が必要となる。本講義では、統計学の基本的な考え方と統計解析の手法を演習形式で習得することを目標とする。 | ①統計学の基礎的な理論(統計学的な考え方)を理解する<br>②データの収集・整理・要約するための記述統計学を理解する<br>③標本データに基づいて母集団の特徴を推測する推測統計学を理解する<br>④Excelを用いて基礎的な統計解析の手法を身に付ける<br>以上より、本科目を修得することで「様々な現象を数量的に表す能力」および「データを適切に分析する能力」を身に付けることを目標とする。 |



| 科目番号       | 科目名               | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|-------------------|----|--|---|
| 17GLII0002 | 情報社会を生きる技術        | 全て | パソコンやスマートフォンでインターネットを利用する上での情報セキュリティについて学習する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを安全に使用できるようになること</li> <li>インターネットの光と影の部分を認識できるようになること</li> <li>使用するパソコンやスマートフォンの情報セキュリティに関する設定ができるようになること</li> </ul>  |
| 17GLII0003 | 画像編集基礎            | 全て | DTP分野等でのグラフィックデザインにおいて、必要不可欠な技術となったコンピュータによるデザイン作業の基礎を学習する。フォトショップとイラストレーターを用い、「イラストや文字を描く」「写真を加工する」等の操作実習によって、基礎的な技術や知識を習得する。デジタルデザインの基礎を理解し、作品制作を通して自身の表現手法を広げ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。                | グラフィックデザインのデファクトスタンダードであるフォトショップとイラストレーターについて、基礎的な操作ができ、オリジナル作品が制作できるようになる。これによりデザインスキルやコミュニケーションスキルを向上させる。あわせてCG制作の基礎知識（解像度やファイルフォーマット、拡張子など）が理解できるようになる。  |
| 17GLII0004 | Flashによるコンテンツ作成演習 | 全て | Flashを使って簡単なデジタルコンテンツが作成できるようになることを目的とする。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ作成に必要な音の編集ができるようになること</li> <li>Flashを使って簡単なデジタルコンテンツが作成できるようになること</li> <li>Action Scriptを使って簡単なプログラムが組めるようになること</li> <li>プログラミングを通じて論理的な思考ができるようになること</li> </ul>                    |
| 17GLII0005 | Webデザイン基礎         | 全て | 情報社会では、多くの情報が電子化され情報の蓄積・検索・発信が容易に行われるようになった。ホームページ（Webページ）はその典型であるが、この科目では、ホームページの作成に利用されるHTML言語の基礎を学び、ホームページの仕組みを理解することが目的である。さらに、オリジナルのホームページが作成できるようになることが、この科目の目的となる。                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ作成に利用するプログラミング言語HTMLの基礎について理解する。</li> <li>HTMLの命令（タグ）について、一連の基礎的なタグの使い方を理解する。</li> <li>ホームページ作成の際、見易さという観点から、タグを活用する方法を学ぶ。</li> <li>最終目標は、オリジナルのホームページを作成できるようになることである。</li> </ul> |
| 17GLII0006 | Webデザイン応用         | 全て | インターネットでのサービスの中でもWebによる情報発信は、コミュニケーションメディアとして、とても重要な役割を担っている。この授業では、Webの基礎知識を土台に、実践的なWebサイト制作手法を実習し、サイトコンセプトに応じたデザインを効率よく提案する手法を学ぶ。これによりクライアントの目的に応じたWebサイトが構築できる技能の習得を目指す。                          | Webサイトを制作できるようになる。アクセシビリティやユーザビリティを考慮したWebサイトが制作できるようになる。JavaScriptを用いたインタラクティブなWebサイトが制作できるようになる。PCとサーバーの役割の違いを理解し、サーバー上にWebサイトを構築できるようになる。  |
| 17GLII0007 | Accessデータベース基礎    | 全て | データベースソフト、Accessの操作方法と活用方法を修得する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>Accessの基本的な操作ができるようになること</li> <li>基本的なデータベースの概念が理解できること</li> </ul>   |
| 17GLII0008 | デジカメ写真撮影とレタッチ入門   | 全て | デジタルカメラやスマートフォンが普及し、誰もが気軽に写真を撮れる環境が整った。しかし知識不足から、なかなか満足できる写真が撮れないことも多い。プリントや壁紙に活用することもなく、撮った写真をそのまま放置している事が多い。そこで基礎知識を学び、撮影練習を行う事で、満足できる1枚が撮れるようになる。また撮影した写真を、フォトショップを用いて加工・補正し、レタッチできるようになる事を目的とする。 | デジタルカメラによる写真撮影の基礎知識（露出、フォーカス、フレーミング、シャッターチャンス）を理解して、目的の写真を狙って撮影ができるようになる。また撮影した写真について、フォトレタッチソフトを用いて色調などを補正できるようになる。  |
| 17GLII0009 | アプリによるスマホ写真編集基礎   | 全て | スマートフォンの普及により、誰もが気軽に写真を撮れる環境が整い、デジタル写真がますます身近なものになった。そこでスマートフォンの写真撮影アプリを活用して写真を撮り、写真編集アプリを活用して素敵に加工編集できるようになる事を目的とする。  | あまり知られていないスマートフォンのカメラの基本機能を理解し、写真撮影アプリの設定を操作してその機能を活用できるようになる。また撮影した写真データを、スマートフォンの写真編集アプリを用いて素敵に加工編集ができるようになる。   |

#### 健康・スポーツ科目群（健康・スポーツ科学科目）

| 科目番号       | 科目名     | 学年 | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|---------|----|---|--|
| 17GHSS0001 | スポーツと栄養 | 全て | スポーツ選手における体力の維持、競技成績向上のために、トレーニングとともに適切な食事が重要である。そのために必要な基礎的な栄養学知識を身につけ、競技スポーツ、健康の維持・増進のためのスポーツにおける食事についても理解を深める。知識の習得と共に、指導の場での応用方法や必要となるスキルを会得する。 | 五大栄養素のスポーツにおける役割を理解し、それぞれを応用して競技力向上のための活用方法および具体例まで挙げられるようにし、スポーツをする人を対象とした指導媒体を作成できる程度の知識を習得する。 |

| 科目番号       | 科目名            | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|----------------|----|--|--|
| 17GHSS0002 | 障害者とスポーツ       | 全て | 障がい者の親しんでいるスポーツ・レクリエーションの現状を理解し、身近な障がい者へのスポーツ活動の支援に役立てることを目的とする。   | 障がいについての基本的な知識を身につけることができる。<br>障がい者のスポーツの捉え方、歴史、組織、競技・種目、ルール等を理解することができる。<br>障がい者の生活、障がい者のスポーツ活動を通して、社会のあり方について考えることができる。  |
| 17GHSS0003 | ダンス・ムーブメントセラピー | 全て | ダンス・ムーブメントをセラピーの視点からとらえ、それらの手法を今後の各自の心とからだの健康づくりーヘルスプロモーションーに役立てる。   | 1. 安心して学習できる「パーソンセンタード」の環境づくりを学ぶ<br>2. からだを通した自己探求を試みる<br>3. ダンス・ムーブメントが持つヒーリングの側面を体験する<br>4. グループワークの方法を学ぶ  |
| 17GHSS0004 | 女性の健康と運動       | 全て | 現代社会では、科学技術の発展や車社会の発達により身体を動かす事が極端に少なくなり、運動不足による弊害も叫ばれている。特に将来、母体と成り得る女性が健康的に美しくなる事は非常に大切なことである。今回の授業ではスポーツ科学に基づき女性の健康美を追求していく。  | 1) 過去から現代まで、女性が何を目的として運動を行ってきたかを理解する。<br>2) 体力の基本概念を理解し、女性と男性の体力の違いを明らかにする。<br>3) 女性と男性の体型の違いを理解し、加齢に伴う体型の変化や、時代のよる体型の違いを明らかにする。<br>4) 肥満の判定基準を理解し、肥満改善の為の運動を仕方を学習する。<br>5) 痩せの判定基準を理解し、若い女性にとって痩せ過ぎが如何に怖い事であるかを学習する。<br>6) 更年期障害とは何かについて学習し、更年期障害の対処方を学ぶ。<br>7) 骨粗鬆症とは何かについて学習し、骨粗鬆症の予防法を学ぶ。<br>8) 運動処方とは何かを学習し、安全に目的にあった運動処方を立案できるようにする。 |
| 17GHSS0005 | 運動と健康の科学       | 全て | 現代生活における健康と運動の意義、運動と身体や心の健康の関係、健康な生活を送るための運動について、健康科学・運動科学の面から基本的理解を得る。  | 学生自身がこの授業を通じて、現在の生活習慣を見直し、改善することができる。  |
| 17GHSS0006 | スポーツの楽しみ方      | 全て | スポーツには、「する」「見る」「支える」の視点で参加する事ができる。この授業では技術や戦術、チームビルディング、サポートスタッフの役割等について学ぶ。フェアプレイの精神やチームワークの大切さにも触れ、スポーツの価値を再認識することを目的とする。   | 自分なりのスポーツの楽しみ方を発見する。<br>スポーツを生活の一部とする術を獲得する。<br>スポーツを通して社会生活に必要な態度を身につける。  |
| 17GHSS0007 | 老年期リハビリテーション学  | 全て | 高齢者に多い病気や、高齢者の特徴、加齢に伴う体の変化を家族の方や周りの方が理解することはとても大切なことです。<br>老年期リハビリテーション学は高齢者の病気、転倒予防や骨折、高齢者の病気を予防できる生活習慣について学ぶ。また、体が不自由になった方の生活環境整備や介護する方法、家の中でできる運動について理解する。                                      | 高齢者に多い病気（脳血管障害・パーキンソン病・骨折）について理解する。<br>高齢者の特徴、加齢に伴う体の変化、転倒予防、認知症について理解する。  |
| 17GHSS0008 | 生活リハビリテーション学   | 全て | 病気や事故で体が不自由になった方には、日常生活で困っていることを理解することはとても大切なことです。<br>生活リハビリテーション学ではリハビリテーションの意義、生活環境（車いす、手すり、自助具）を理解し、体が不自由になった方を介護する方法、家の中でできる運動（関節を動かす、バランス、筋力）について理解を深める。家庭でできる運動により体の不自由な方の現状を維持し生活の質の向上をめざす。 | 体が不自由な方のリハビリテーションの意義、生活環境（車いす、手すり、自助具）、介護方法、腰痛予防について理解する。<br>家庭でできる運動（関節を動かす、バランス、筋力）について理解する。   |
| 17GHSS0009 | 知っておきたい救急処置    | 全て | 病気やけが、緊急時のけがが人や急病人に対して必要な救助や手当の方法について正しく知り、実践できることを目的とする。  | 1. 緊急時の対処方法を知り、基本的な応急手当ができる。<br>2. 一次救命の正しい方法を知り、基本的な対処と処置ができる。  |

| 科目番号       | 科目名            | 学年 | 科目目的   | 到達目標   |
|------------|----------------|----|--|--|
| 17GHSS0010 | アメリカンコーチングメソッド | 全て | この科目では、実践的な米国スポーツコーチングメソッドを学ぶ上で欠かせないリーダーシップ力を学び、競技者を育成する高度な知識と効果的なコーチとアスリートのリレーションシップを学習する。<br>また、スポーツを行う上で、パフォーマンスだけでなく、メンタル面でのモチベーションの向上を目指すことを習得する。アスリートの日常に最も重要な基礎栄養学やボディコンディショニング、ウェイトコントロールについても理解を深める。海外事例を参考に、国際化が進むなかで必要不可欠であるコミュニケーション力を高め、国際理解を深めると共に、健康・スポーツ指導者、スタッフとしての国際的なリーダーの育成を目的とする。 | アスリートのロールモデル（模範となる人物）となるための優れた知性、感情豊かな心、人に対する思いやりを学ぶ。コミュニケーション能力の向上により、言葉の発信力と国際力を身につけることを目標とする  |
| 17GHSS0011 | からだ育てと運動文化     | 全て | 健康づくりと豊かなスポーツライフの実践は生涯にわたる営みである。この土台作りは学校体育の重要な役割である。この役割を自覚し、学校体育のこれまでとこれからを見直し、見通すことが大切である。永く続いている学校体育をいまいちど振り返り、そのあるべき姿を模索するための基礎を学ぶ。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育を生成させた主な体育理論を説明できる。</li> <li>・学校体育をめぐる現代的な課題を挙げることができる。</li> <li>・学校体育の何を継承し発展させるかを述べるができる。</li> </ul> |

#### 健康・スポーツ科目群（スポーツ実技科目）

| 科目番号       | 科目名            | 学年 | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|----------------|----|---|--|
| 17GHSE0001 | スポーツ実技（テニス）    | 全て | テニスは生涯スポーツであり何歳になっても楽しめるスポーツである。<br>授業では基本技術の習得、ゲームのルールやテニスのマナーを学び応用技術を実習しゲームが出来るように学習する。<br>出来る喜びを感じる。   | テニスの基本技術と応用技術とルールを学び試合が出来ることを目標とする。<br>テニスの楽しさを学ぶ。   |
| 17GHSE0002 | スポーツ実技（ゴルフ）    | 全て | 生涯スポーツであると共に、今や社会人の社交の場となっているゴルフ。<br>紳士淑女のスポーツとも言われるゴルフを正しく理解し、肩こりや腰痛予防の運動にもなるゴルフスイングを健康的に楽しめるようになることを目的としている。  | ゴルフの競技特性を学び、スイング技術の基本を習得する等、ゴルフコースをラウンドするにあたっての準備や基礎を構築する。<br>また、実際にボールを打つ練習を自立的に楽しめるように、良いスイングフォームを覚えることを目標とする。   |
| 17GHSE0003 | スポーツ実技（バレーボール） | 全て | バレーボールの楽しさは、一つのボールをつなぎ・ラリーを行うことにある。本授業では、基本技術の習得やルールおよび審判方法など種目の特性を理解する。また、楽しみながらゲーム体験ができるよう個人技能の向上および集団機能の重要性を知り、生涯において健康的な生活を送るための健康づくりや生涯スポーツへきっかけとなるよう授業を展開することとする。 | バレーボールは集団スポーツであることから、集団的機能による共同性を養うだけでなく、本競技の本質的楽しさを知るために、個人到達目標として基本動作となるオーバーハンドパス・アンダーハンドパスおよびサーブ・レセプション（サーブレーション）・ディグ（スパイクレシーブ）・スパイクなどの個人技能の習得に併せ、他者を介してのボールコントロールができることを到達目標とする。 |
| 17GHSE0004 | スポーツ実技（バドミントン） | 全て | 生涯スポーツとして、年齢男女問わず、レクリエーションにも、競技的にも楽しむことのできるバドミントン。<br>そのバドミントンの特性を、するスポーツとして、見るスポーツとして、支えるスポーツとして等、様々な角度から理解し、その楽しさを多角的に学ぶことを目的とする。                                     | バドミントンの基本的なストローク技術・シングルスやダブルスのルールの理解、習得し、試合を通して、プレーすること、他者のプレーを見る・応援すること、試合運営を支えあうこと等から、多角的な楽しさ、バドミントンへの携わりを学ぶ。  |
| 17GHSE0005 | スポーツ実技（卓球）     | 全て | 目的：卓球のボールの独特な性質を学び、技術を向上させ、ゲームを主体的に楽しめるようにする。   | 目標：卓球の競技特性を理解し、生涯を通じてゲームを楽しむ能力と態度を身につける。   |
| 17GHSE0006 | スポーツ実技（ジャズダンス） | 全て | ジャズダンスはポピュラー音楽の変遷と共にそのダンススタイルを変容してきた。本講義では、それらの中から代表的なスタイルおよび音楽の速度による踊り方の違い等を体験することにより、ジャズダンスが単に流行の音楽に合わせた一様式のダンスではない事を学習する。  | この科目は、ジャズダンスの概論・実践の双方を学習した上で、セメスター修了時に衣装付でダンサー体験をすることにより、実際の現場（生涯学習・教育現場・舞台等）で生かせる実践力の習得を目標としている。  |
| 17GHSE0007 | スポーツ実技（エアロビクス） | 全て | 音楽に合わせて、リズムカルに楽しく身体を動かし、健康・体力づくりができるのがエアロビックダンスである。本授業では、楽しくエアロビックダンスを行い、健康体力づくりに役立つ知識を学ぶ。そして、生涯に渡って楽しくフィットネスライフを継続できるように目指す。   | 毎回の授業において、授業が終わっても、自宅や学校等で、いつでもどこでもできるトレーニングやストレッチを実践できるようになること。   |



| 科目番号       | 科目名            | 学年 | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|----------------|----|---|--|
| 17GHSE0008 | スポーツ実技（中級エアロ）  | 全て | 目的：エアロビックダンスエクササイズの指導において必要な技能の習得。JAFA（日本フィットネス協会）認定ADI（エアロビックダンスインストラクター）の資格取得の為の実技指導を行う。<br>到達目標：JAFA（日本フィットネス協会）認定のエアロビクスインストラクター資格取得の為の理論と実技指導が出来る。 | <学科・知識><br>ADI（エアロビックダンスインストラクター）の資格取得の為に、基本動作、プログラム構成、指導スキルを習得する<br><実技指導><br>・エアロビクスの基本動作の習得<br>・課題実技の実施<br>・プログラム作成（2分間のエアロビクスを作成する）<br>・指導（インストラクターとして、参加者を指示・誘導し、コミュニケーションが取れる指導を実施）  |
| 17GHSE0009 | スポーツ実技（上級エアロ）  | 全て | 目的：JAFA（日本フィットネス協会）認定ADI資格取得の為の実技理論と実技指導を行う。<br>到達目標：JAFA（日本フィットネス協会）認定のADI資格取得の為の理論と実技指導が出来る。  | <学科・知識><br>ADI（エアロビックダンスインストラクター）の資格取得の為に、実技理論、プログラム構成、指導力等を学ぶ<br><実技指導><br>・エアロビクスの基本動作の習得<br>・課題実技の指導<br>・プログラム作成（エアロビクス、筋コンディショニング、ストレッチを作成する）<br>・指導（インストラクターとして、参加者を指示・誘導し、コミュニケーションが取れる指導を実施）                                  |
| 17GHSE0010 | スポーツ実技（水泳）     | 全て | 水泳技術を獲得することは、自身と他人の生命を水の事故から守る事が可能となる。また、長い距離を泳げる技術を修得することは、体力の向上、生涯スポーツとして健康の維持・増進に有用な身体活動である。実践におけるプールでの事故防止と安全管理についても学習する。                           | 4泳法ならびにスタート・ターンにおける基礎技術について目標設定された距離と時間を完泳することを目標とする。水泳の事故防止と安全管理について、実施上の留意事項について学習する   |
| 17GHSE0011 | スポーツ実技（軽スポーツ）  | 全て | トランポリン運動は、三次元スポーツ！<br>空中で自分の体を動かし新たな身体能力を発見しよう。<br>個人スポーツなので各自のレベルに合わせて楽しく運動することができる。<br>また全身運動により美しいプロポーション作りに役立つ。<br>脳の活性化・持久力・瞬発力・バランス感覚を養うことができる。   | 1. バランス感覚を身につける。<br>コア・トレーニングができる（普段運動不足の学生）<br>インナー・マッスルが更に強化される（運動クラブの学生）<br>2. 脳の活性化・体力の向上を図る。<br>学業のプラスに繋がる（トランポリンを使用の動作全て）<br>3. 生涯スポーツとして役立つ。<br>一度身につけた感覚は忘れない為。<br>※トランポリン運動は不安定な場所で行う為、頭と身体を一度に使う為、認知症の予防や障害者の回復運動にも利用できます。 |
| 17GHSE0012 | スポーツ実技（遊びと障害）  | 全て | 障がいのある人（以下障がい者）がスポーツや遊びを楽しみ、身体を動かすことの大切さを考えていく。そのためにも誰もが取り組みやすい球技や水泳を取り上げ、その疑似体験を行うことによって、身体を動かすことの楽しさを理解することを目的とする。                                    | 障がいとは何か、また障がいのある人がスポーツや遊びを楽しむということはどういうようなものなのか、実際に体験することにより「決して特別なことではない」ということを理解する。  |
| 17GHSE0013 | スポーツ実技（ヨガ）     | 全て | ストレス社会の出現で医学や心理学方面にヨガの効用を役立てるヨガ療法が世界中に広まり、その効果が多く学会で報告されています。授業では実技を中心に様々な気付きを得ることで五感が高まり学生生活また卒業後も自己の心身バランスを保つ上で役立てられるよう学びます。                          | 自然に柔軟性、筋持久力、心肺機能など基礎体力が向上し、元気に綺麗になり気持ちが前向きになれることが期待できますが、実技での体と呼吸の変化を通じ、自分の意識とコントロール力、感じるという力を高めていきます。   |
| 17GHSE0014 | スポーツ実技（サッカー）   | 全て | サッカーのルールや特性を学び、個人技術を向上させチームスポーツとしてゲームを楽しめるようにする。  | サッカーの競技特性を理解し、身体を動かす楽しみや充実感を味わいながらチームワークを養い、生涯にわたってスポーツを楽しむ能力と態度を養う。   |
| 17GHSE0015 | スポーツ実技（ビーチバレー） | 全て | ビーチコートにおいて「はだし」で球技スポーツを楽しむ。<br>バレーボールとビーチバレーの違いを知り、ビーチバレーを楽しむ。<br>またビーチバレーを通して自然環境と向き合う。  | 自然環境下でバレーボールを行ない、砂、風に慣れること。ビーチバレーのルールで競技ができるようになること。   |

| 科目番号       | 科目名           | 学年 | 科目目的  | 到達目標   |
|------------|---------------|----|---|--|
| 17GHSE0016 | マ ッ サ ー ジ 実 習 | 全て | 自分自身の体にある関節や筋肉について理解し、マッサージによる健康維持、血行の改善の方法を理解する。たくさんの人が経験する肩こり、腰痛に対するマッサージの方法を理解する。<br>疲労回復、リラクゼーションを目的としたマッサージの技術を習得する。                 | 体の部位や関節、筋肉について理解し、上肢・下肢・体幹に対するマッサージの方法を習得する。<br>肩こり、腰痛の原因を理解し対処方法、改善策、マッサージ方法について理解する。   |
| 17GHSE0017 | からだど気づきと姿勢法   | 全て | ネヘミア・コーヘン氏によってカナダで開発された姿勢調整法であるミツヴァ・テクニクを中心に、その基本的概念と実践の方法を学ぶ。授業では基本エクササイズを体得すること、またその過程において自己のからだの在り方に目を向け、耳を傾けることで、からだへの気づきを促すことを目的とする。 | 学生が自分の習慣やからだの使い方の癖を見つめ直すことを通じて、からだへの気づきと姿勢調整の意味を理解する。各自ミツヴァ・エクササイズとその補助エクササイズを継続的に出来るようにする。  |
| 17GHSE0018 | 巧みな動きづくり      | 全て | スポーツの動きにおいてはいろいろなことが要求される。多くの行為プログラムを持つこと、状況に適した行為を行うこと、環境を認知しそれを利用すること、すばやく精度を高めること等々。これらはどのようにして身につければいいのか。この科目では、教職に就いた際の指導法も身につける。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーション能力を構成する7つの能力それぞれを理解する。</li> <li>・それらを高めるトレーニング法を身につける。</li> <li>・指導法の重要ポイントを身につける。</li> </ul> |

### 大学・初年次ゼミ

| 科目番号       | 科目名             | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|-----------------|----|--|---|
| 17GUSM0001 | 情報社会を見る目・生き抜く知恵 | 全て | 学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。<br>このゼミでは、情報社会に特有の事象（出来事）を取り上げ、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り上げる話題について広く深く調べる方法を学び、実践できる。</li> <li>・話題について他者の考えを理解し、自らの視点から明確に考えを主張できる。</li> <li>・様々な話題に関する議論を通じ、情報社会の特徴を自分の言葉で述べるができる。</li> <li>・情報社会特有のリスク（危険性）を理解し、リスクの軽減や回避の方法を提案できる。</li> </ul>   |
| 17GUSM0002 | 変化の時代に学ぶ        | 全て | 学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。このゼミでは、様々な事象の中から時代の変化に焦点を当て、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。<br>併せて、武庫川女子大学の「教育推進宣言」における「主体性・論理性・実行力」を備えた「自立した学生」をめざす。  | 自分で考える力。とくに正解のない問題を考え、そのことに楽しんで取り組む姿勢。質問力の獲得。視野の拡大と成長意欲。何事にも失敗を恐れず挑戦する精神。思考と経験の言語化。行動力。脱・指示待ち人間。コミュニケーション力およびリーダーシップ必要性の理解。グループワークとスピーチへの積極性。ちなみに、授業参加者に求めるモットーは、「挑戦・失敗・成長」。  |
| 17GUSM0003 | 新聞コラムで世界を知る     | 全て | 学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。このゼミでは、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・混迷の時代を生き抜くために必要な「学び」はどうあるべきか。受け身ではなく、積極・果敢な学習意欲によって考察、行動に転じる契機にしてほしい。</li> <li>・「読む力」「書く力」「伝える力」は基礎体力ともいえる。すべての「学び」の根底でもある、三つの力を培おう。</li> <li>・社会の動向の動きに素早く反応し、その事象がわれわれとどう関係しているのか。常にグローバルな視野と意識を持とう。</li> <li>・文字・活字が持つ「力」を具体的に把握し、「言葉」が主体的な生き方の支えになることを認識しよう。</li> <li>・柔軟な発想、自由な思考を構築するための胎動期として位置づけ、「議論の楽しさ」を体感してみよう。</li> </ul> |
| 17GUSM0004 | 脱受け売りのための考える力   | 全て | 学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。<br>このゼミでは、一つの軸となるテーマから周辺の関連事項に自ら関心を抱き、自身の意識の中に「知的好奇心の芽」を育てることを目指す。身近な話題から社会問題に至るまで様々な事柄について考え、独自の見方を確立する一方で他者の意見を尊重し、お互いに適切に批判しあうことができる「クリティカルシンカー」となることを目的とする。 | 自身の考えを他に的確に伝えることができる<br>自身の考えに対する他からの批判を適切に受け止め討論できる<br>他の意見に対し、適切に批評することができる   |

| 科目番号       | 科目名            | 学年 | 科目目的   | 到達目標  |
|------------|----------------|----|--|---|
| 17GUSM0005 | はじめて学ぶジェンダー問題  | 全て | <p>学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。</p> <p>このゼミでは、国内外のジェンダーに関わる慣習や「常識」を取り上げ、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の慣習や「常識」をジェンダーの視点から捉え、その背景を理解できる。</li> <li>・さまざまな事例について調べ、共通点や相違点を示すことができる。</li> <li>・慣習や「常識」を批判的に捉え、改善の余地を探ることができる。すでに対策がとられている場合には、その賛否について調べ、自らの見解を明示できる。</li> <li>・他者の立場や意見を尊重しつつ、自らの考えを述べるることができる。</li> </ul>   |
| 17GUSM0006 | 歴史から見通す現在・未来と私 | 全て | <p>学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。</p> <p>このゼミでは、歴史的事象（出来事）を取り上げ、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。</p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来を見通す力を養うために、過去から現在に続く歴史的事象を事例として、自らの立場、考え方を歴史的文脈（時間の流れ）に位置づけながら説明することができる。</li> <li>・自身の立場・考え方、あるいは評価内容を、客観的、論理的、かつ冷静に議論できることができる。</li> <li>・議論した内容・結果を、オーラル・文章の両面から他者へ伝えることができる。</li> <li>・価値観・評価・アプローチには多様な方法があることを理解し、自身とは異なる立場・考え方を尊重することができる。</li> <li>・過去から連続する現代社会や未来に対する視野を拡大し、多様なものの見方ができる。</li> <li>・客観的に根拠ある証拠を示さなければ、歴史事象を含む社会のさまざまな事柄が評価されないことを理解し、自ら実践できる。</li> </ul> |
| 17GUSM0007 | 人間の心理と行動を探る    | 全て | <p>学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。</p> <p>このゼミでは、「人はなぜこうするのだろうか」などという身近な疑問を取り上げ、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学での学びに対して興味・関心を持つ</li> <li>・他者と協同して学ぶために必要な力（コミュニケーション力、実行力、積極性、思いやり）を身につける</li> <li>・グループで役割分担して、班の研究成果を発表することができる</li> <li>・結果を用いて自ら考え、レポートとしてまとめることができる</li> </ul>  |